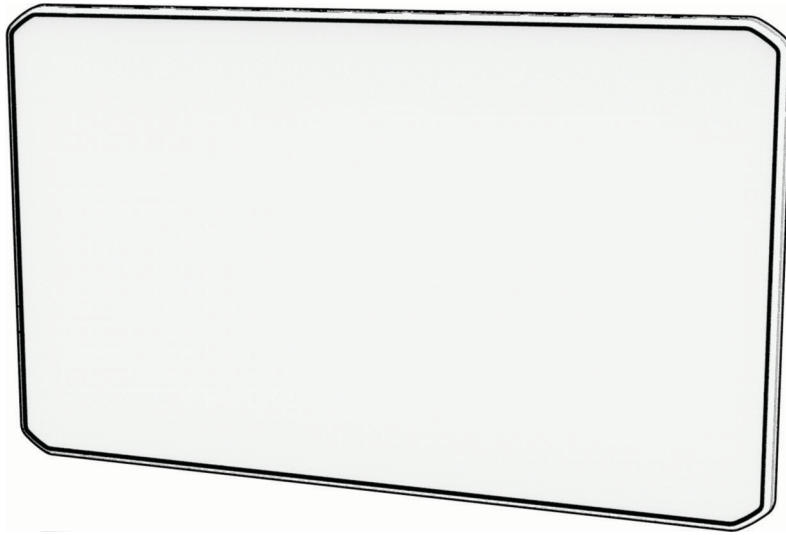


GARMIN®



DēZLCAM™ OTR725 / LGV725

操作マニュアル

© 2024 Garmin Ltd. or its subsidiaries

無断転載禁ず。著作権法により、Garmin 社の書面による承認なしに、本マニュアルの全体または一部をコピーすることはできません。Garmin 社は、ユーザーや組織に通知する責任を負うことなく本マニュアルの内容を変更または改善したり、内容を変更する権利を有します。本製品の使用に関する最新情報および補足情報については、www.garmin.com を参照してください。

Garmin® および Garmin ロゴは、Garmin Ltd. とその子会社の米国およびその他の国における登録商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

BC™、dēzl™、dēzlCam™、Garmin eLog™、Garmin Express™ および myTrends™ は、Garmin Ltd. またはその子会社の商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

Android™ は Google LLC、Apple® の商標であり、Mac® は、米国およびその他の国における Apple Inc. の商標です。BLUETOOTH® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の所有であり、Garmin はライセンスに基づきこのワードマークまたはロゴを使用しています。CAT Scale® は CAT Scale Company の登録商標です。microSD® および microSDHC ロゴは、SD-3C, LLC の商標です。Love's® および Love's Travel Stops® は、Love's Travel Stops & Country Stores, Inc. の登録商標です。Pilot Flying J™ および Pilot Flying J Travel Centers™ は、Pilot Travel Centers LLC およびその関連会社の商標です。PrePass® は、PrePass Safety Alliance の商標です。Tripadvisor® は TripAdvisor LLC. の登録商標であり、TruckDown® は TruckDown Info International, Inc. の商標です。Windows® は、米国およびその他の国における Microsoft Corporation の登録商標です。Wi-Fi® は Wi-Fi Alliance Corporation の登録商標です。

目次

はじめに.....	1
dēzl™デバイスの概要.....	1
ダッシュカメラのメモリカードを挿入する.....	2
取り付けに関する注意事項.....	2
車両への dēzl デバイスの取り付けと電源供給.....	3
デバイスの電源をオンまたはオフにする.....	4
GPS 信号を捕捉する.....	5
メイン画面.....	5
アプリの起動.....	6
ステータスバーアイコン.....	7
タッチスクリーンを使用する.....	7
画面の輝度を調整する.....	7
音量を調整する.....	7
車両プロフィール.....	8
車両プロフィールを追加する.....	8
乗用車プロフィール.....	8
車両プロフィールの切り替え.....	8
トレーラー情報を変更する.....	8
車両プロフィールを編集する.....	9
ダッシュカメラ.....	9
カメラの位置を合わせる.....	9
ダッシュカメラによる録画.....	9
ダッシュカメラの録画の保存.....	10
ダッシュカメラによる録画を停止 / 開始する.....	10
オーディオの録音をオンまたはオフにする.....	10
ビデオや写真を表示する.....	10
コンピュータ上のビデオ.....	10
ビデオまたは写真を削除する.....	10
Vault ストレージ.....	11
Vault へのサブスクリプション登録.....	11
ビデオを共有する.....	11
ビデオの編集とエクスポート.....	11
共有ビデオリンクを無効化.....	12
Vault からのビデオの削除.....	12
ドライバーへの注意喚起の機能とアラート.....	12

ドライバーアラートを有効または無効にする.....	13
赤信号カメラとスピードカメラ.....	13

位置の検索と保存を行う.....	13
検索バーを使用して位置を検索する.....	14
住所を検索する.....	14
場所検索の結果.....	15
検索エリアを変更する.....	16
ジャンル別施設.....	16
トラックのジャンル別施設を検索する.....	16
TruckDown® ジャンル別施設 (POI) を検索する.....	16
CAT Scale®の位置を検索する.....	17
Tripadvisor.....	17
Foursquare.....	17
カテゴリーを入力して位置を検索する.....	17
駐車場.....	18
トラック駐車場を検索する.....	18
Truck Parking Europe を使用する.....	18
現在の場所近くの駐車場を検索する.....	18
検索ツール.....	18
交差点を検索する.....	18
座標を使用して位置を検索する.....	18
最近検索した位置を表示する.....	18
最近検索した場所のリストを消去する.....	18
現在地情報を表示する.....	19
緊急時サービスとガソリンスタンドを検索する.....	19
現在地への道順を表示する.....	19
ショートカットを追加する.....	19
ショートカットを削除する.....	19
位置を保存する.....	19
位置を保存する.....	19
現在地を保存する.....	20
保存した位置を編集する.....	20
保存した位置を削除する.....	20
目的地へのナビゲーション.....	20
ルート.....	20
ナビゲーションを開始する.....	21
地図を使用してナビゲーションを開始する.....	21

帰宅する	21
地図上のルート	22
アクティブ車線案内	23
地図上に人気のトラックパスを表示する	23
方向転換と方向指示を表示する	23
地図にルート全体を表示する	23
到着を計画する	24
目的地に到着する	24
トラックルートの完了	24
目的地の近くの駐車場	25
アクティブルートを変更する	25
ルートに場所を追加する	25
ルートを形成する	25
迂回路を検索する	26
ルート探索方法を変更する	26
ナビゲーションを停止する	26
推奨ルートを利用する	26
遅延、有料道路、およびエリアを回避する	26
ルート上の交通遅延を回避する	26
道路の回避機能	26
環境ゾーンを回避する	27
カスタム回避	27

地図を使用する 28

地図ツール	28
地図ツールを表示する	29
この先	29
この先の場所を表示する	29
[この先]カテゴリをカスタマイズする	29
次の都市まで	29
この先の都市や出入口サービスの表示	29
地図上の道路制限	30
警告およびアラート記号	30
制約に関する警告	31
道路状況に関する警告	31
アラート	32
トリップ情報	32
地図からトリップデータを表示する	32
走行履歴を参照する	32
トリップ情報をリセットする	32
進行方向の交通事故を表示する	32
地図上に交通渋滞情報を表示する	32

交通事故情報を検索する	33
地図をカスタマイズする	33
地図レイヤーをカスタマイズする	33
地図データフィールドを変更する	33
地図表示方法を変更する	33

ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能 33

スマートフォンとペアリングする	34
dēzl アプリを使用して住所または場所に移動する	34
スマート通知	34
地図の表示中に通知を受信する	34
ハンズフリー通話	35
電話をかける	35
音声ダイヤルを使用して電話をかける	35
電話を受ける	35
通話中オプションを使用する	35
Bluetooth 機能を有効または無効にする	35
アプリの通知を表示または非表示にする	36
Bluetooth デバイスの取り外し	36
ペアリングした電話を削除する	36

トラフィック 36

スマートフォンを使用してトラフィックデータを受信する	36
地図上に交通渋滞情報を表示する	36
交通事故情報を検索する	37

車両およびドライバーツール 37

休憩の計画	37
推奨の休憩をとる	37
休憩タイマーを開始する	37
休憩タイマーの一時停止とリセット	37
運転時間を調整する	37
1 日の制限運転時間を調整する	38
Garmin eLog	38
dēzl デバイスで Garmin eLog の機能をセットアップする	38
Garmin eLog の情報を dēzl デバイスに表示する	38
Garmin eLog の診断イベントや故障イベントを表示する	38

IFTA.....	39
燃費データを入力する.....	39
燃費データを編集する.....	39
管轄機関の概要を表示およびエクスポートする.....	39
トリップレポートを編集およびエクスポートする.....	40
エクスポートされた管轄機関の概要およびトリップレポートを表示する...	40
サービス履歴をログに記録する.....	40
サービスカテゴリーを追加する.....	40
サービスカテゴリーを削除する.....	40
サービスカテゴリーの名前を変更する.....	41
サービスの記録を削除する.....	41
サービスの記録を編集する.....	41
PrePass®.....	41
ロイヤルティプログラム.....	41

アプリケーションを使用する.....41

デバイスのマニュアルの表示.....	41
トラック地図を表示する.....	42
ルートプランナー.....	42
ルートを計画する.....	42
ルートの場所を編集および並べ替える.....	42
保存したルートまでナビゲーションする.....	42
アクティブルートを編集および保存する.....	43
前のルートと目的地を表示する.....	43
天気予報を表示する.....	43
気象観測レーダーを表示する.....	43
風予報を表示する.....	43
別の都市周辺の天気を表示する.....	43
ミュージックプレイヤー.....	44
マップにミュージックプレイヤーツールを追加する.....	44
Garmin PowerSwitch™ アプリ.....	45
電源スイッチの有効化.....	45
すべてのスイッチをオフにする.....	45
ボタンのカスタマイズ.....	46
スイッチを制御入力へ割り当てる...	46
カスタムレイアウトの追加.....	46
ルーチン.....	47

音声コマンド.....48

デバイスに話しかける際のヒント.....	48
Garmin 音声案内ナビゲーションの起動.....	49
到着時刻の確認.....	49
音声を使用して電話をかける.....	49
音声を使用してデバイス設定を変更...	49

設定.....49

電話設定.....	49
Wi-Fi 設定.....	49
ワイヤレスネットワークに接続する.....	50
地図および車両設定.....	50
地図を有効にする.....	50
ナビゲーション設定.....	50
トラフィック設定.....	51
運転者支援の設定.....	51
ダッシュカメラの設定.....	51
ワイヤレスカメラ設定.....	51
ディスプレイ設定.....	52
システム設定.....	52
デバイス設定と製品情報.....	52
データと設定をリセットする.....	53
設定を初期化する.....	53

デバイス情報.....53

E ラベルの規制およびコンプライアンス情報の表示.....	53
仕様.....	53
デバイスを充電する.....	53

デバイスのメンテナンス.....54

Garmin サポートセンター.....	54
Wi-Fi ネットワークの使用による地図とソフトウェアの更新.....	54
Garmin Express による地図とソフトウェアの更新.....	55
Garmin Express をインストールする.....	56
デバイスを充電する.....	56
デバイスのお手入れ.....	56
外側ケースのクリーニング.....	56
USB ポートの清掃.....	57
タッチスクリーンのクリーニング...	57
デバイスをリセットする.....	57
デバイス、マウント、吸着カップを取り外す.....	57

吸着カップからマウントを取り外す	57
フロントガラスから吸着カップを取り外す	57

トラブルシューティング.....57

録画したビデオがぼやけている	57
メモ리카ードが劣化して、交換する必要がある	58
録画したビデオが途切れる / 不完全 ...	58
吸盤がフロントガラスに取り付けられない	58
デバイスで衛星信号を受信できない ...	58
デバイスを車両で充電できない	58
充電しても電池の電力が長持ちしない	59
デバイスがスマートフォンに接続されません	59

付録.....59

GPS 信号ステータスを表示する	59
Garmin PowerSwitch	59
取り付けに関する注意事項	59
デバイスの取り付け	60
前面カバーを開く	61
アクセサリーの接続	62
制御入力の接続	62
デバイスを車両電源に接続する	63
Garmin ナビゲーションデバイスとのペアリング	63
Garmin PowerSwitch 仕様	64
トラブルシューティング	64
ワイヤレスカメラ	64
BC™ 50 カメラと Garmin ナビゲーションデバイスのペアリング	65
バックアップカメラを表示する	65
データ管理	66
メモ리카ードについて	66
ダッシュカメラのメモリーカードのフォーマット	66
地図およびデータ用のメモリーカードを挿入する	66
デバイスをコンピュータに接続する	66
コンピュータからデータを転送する	67
追加の地図を購入する	67
アクセサリーを購入する	67

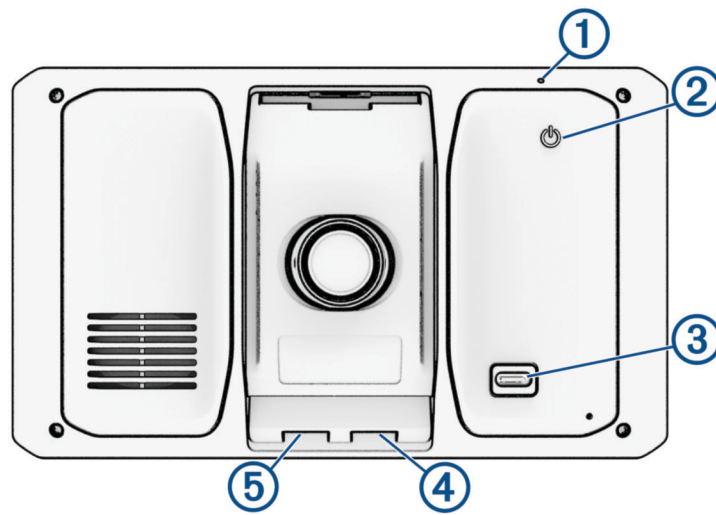
はじめに

⚠ 警告

製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている『安全性および製品に関する重要な情報』ガイドを参照してください。

- デバイスで地図とソフトウェアを更新します (Wi-Fi ネットワークの使用による地図とソフトウェアの更新, 54 ページ)。
- デバイスを車両に取り付けて電源に接続します (取り付けに関する注意事項, 2 ページ)。
- GPS 信号 (GPS 信号を捕捉する, 5 ページ) を捕捉します。
- 音量 (音量を調整する, 7 ページ) とディスプレイの輝度 (画面の輝度を調整する, 7 ページ) を調整します。
- トラックの車両プロフィールを設定します (車両プロフィールを追加する, 8 ページ)。
- 目的地 (ナビゲーションを開始する, 21 ページ) に移動します。

dēzl™デバイスの概要



①	音声コマンド / ハンズフリー通話用マイク
②	電源キー
③	USB 電源およびデータポート
④	カメラのメモ리카ードスロット
⑤	地図およびデータメモ리카ードスロット

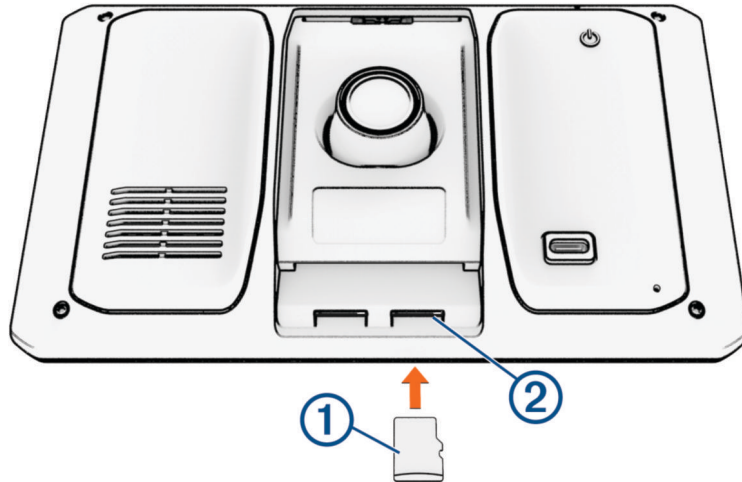
ダッシュカメラのメモリカードを挿入する

デバイスで内蔵のダッシュカメラからビデオを録画する前に、メモリカードを挿入する必要があります。カメラには、8~512 GB、速度レートクラス 10 以上の microSD®メモリーカードが必要です。付属のメモリカードを使用するか、家電販売店から互換性のあるメモリカードを購入して使用することができます。

注：メモリカードは同梱されているため、デバイスを箱から取り出して、すぐに使用することができます。すべてのメモリカードには寿命があり、定期的に変換する必要があります。メモリカードが耐用期間を超過し、交換の必要がある場合は、デバイスに警告が表示されます。トラブルシューティングのヒントに従うと、メモリーカードの耐用期間を延長することができます（[メモリーカードが劣化して、交換する必要がある](#), 58 ページ）。

- 1 カメラのメモリーカードスロット ② にメモリーカード ① を挿入します。

注：間違ったスロットにメモリーカードを挿入すると、カメラでビデオを録画できません。



- 2 カチッと音がするまで押し込んでください。

取り付けに関する注意事項

- ・ ドライバーが道路を見えにくくなるような場所にはデバイスを取り付けしないでください。

⚠ 警告

取り付け場所がすべての適用法および条例を遵守していること、また車両の安全な操作中に視界を妨げないことを保証する責任はお客様にあります。

- ・ 電源ケーブルを安全に配線できる場所を選択します。

⚠ 警告

デバイスを車両に取り付けるときは、デバイスと電源ケーブルをしっかりと取り付けて、車両の操作制御に干渉しないようにします。車両の操作制御に干渉すると、衝突が発生して、負傷または死亡につながるおそれがあります。

- ・ 手が届きやすい場所を選択してください。
- ・ ダッシュカメラから道路をはっきりと見渡せる場所を選択します。
車両のフロントガラスのワイパーがダッシュカメラの前のフロントガラスエリアにないことを確認し、フロントガラスのスモーク部の後ろにダッシュカメラを配置しないようにしてください。
- ・ マウントを取り付ける前に、フロントガラスを十分に清掃します。

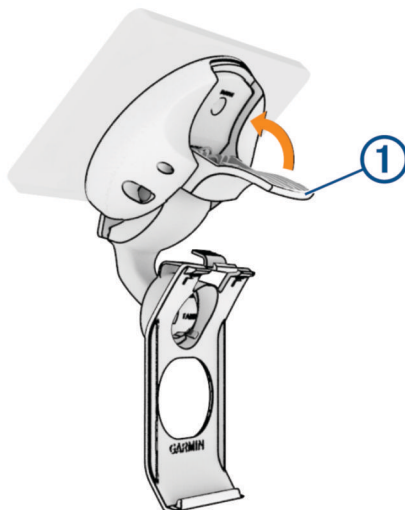
車両への dēzl デバイスの取り付けと電源供給

⚠ 警告

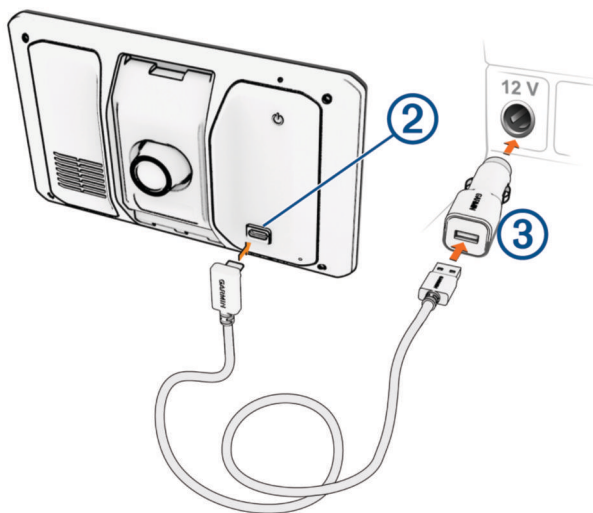
この製品には、リチウムイオン電池が使用されています。電池を高温になる場所に放置すると、怪我や製品損傷の可能性があるため、直射日光を避けた場所で装置を保管してください。

デバイスをバッテリーで使用する前に、バッテリーを充電する必要があります。

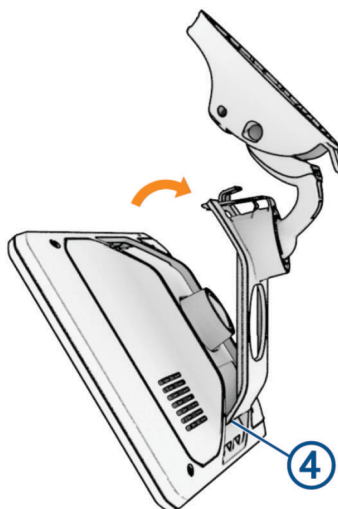
1 吸盤をフロントガラスに押し付け、レバー ① をフロントガラスの方に倒します。



2 車両電源ケーブルをデバイスの USB ポート ② に差し込みます。

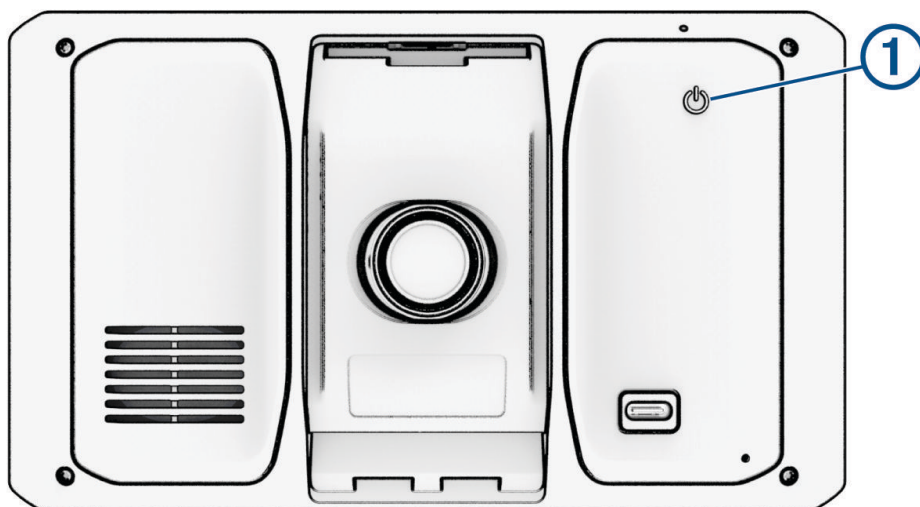


- 3 車両電源ケーブルのもう一方の端③を車両の電源コンセントに差し込みます。
- 4 マウントの下部にあるタブをデバイスの背面にあるスロット④に合わせ、カチッと音がするまでデバイスをマウントに押し込みます。



デバイスの電源をオンまたはオフにする

- デバイスの電源をオンにするには、電源ボタン ① を押すか、デバイスを電源に接続します。



- デバイスを省電力モードにするには、デバイスの電源がオンになっている状態で電源ボタンを押します。
省電力モードになっている間は画面がオフになり、デバイスはわずかな電力しか消費しませんが、すぐに復帰して使用できます。
ヒント：バッテリーを充電している間にデバイスを省電力モードにすることにより、デバイスの充電時間を短縮できます。
- デバイスの電源を完全にオフにするには、画面にプロンプトが表示されるまで電源ボタンを押し続け、**オフ**を選択します。
5 秒後にメッセージが表示されます。メッセージが表示される前に電源ボタンを離すと、デバイスは省電力モードに移行します。

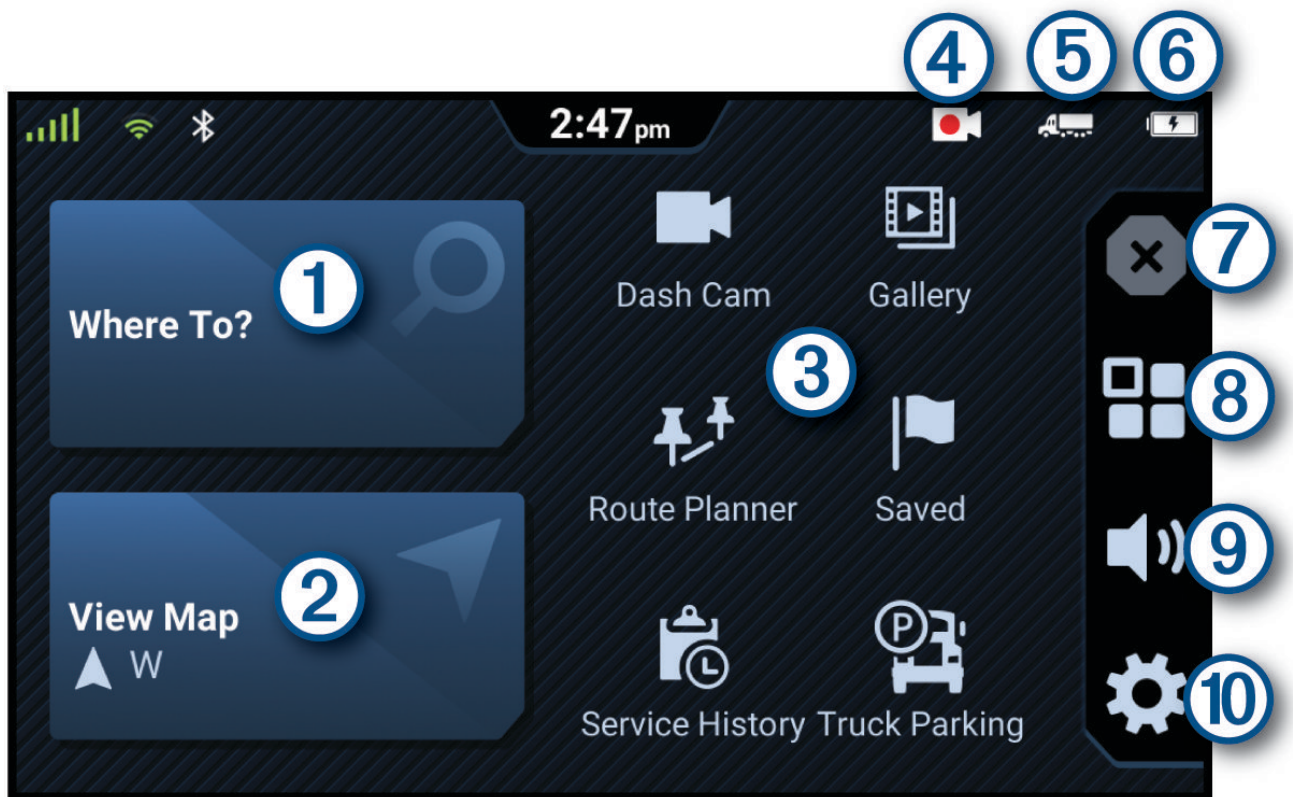
GPS 信号を捕捉する

ナビゲーションデバイスの電源をオンにしたとき、GPS レシーバーは衛星データを収集して現在地を確定する必要があります。衛星信号の取得に要する時間は、ナビゲーションデバイスを最後に使用した場所からどのくらい離れているか、空をはっきり見渡せる場所にいるかどうか、あるいは最後にナビゲーションデバイスを使用してからのどのくらい経っているかなど、さまざまな要素によって異なります。初めてナビゲーションデバイスの電源をオンにしたときは、衛星信号の取得に数分かかることがあります。

- 1 デバイスの電源をオンにします。
- 2 デバイスが衛星の位置を受信するまで待ちます。
- 3 必要に応じて、高層ビルや樹木から離れた、上空の開けた場所に移動します。

ステータスバーの  は衛星信号の強度を表しています。バーが少なくとも半分あれば、ナビゲーションする準備ができます。

メイン画面



①	選択すると、ルートを開始します。
②	選択すると、地図を表示できます。
③	ナビゲーションデバイスの機能を使用するには、さまざまなアプリのショートカットを選択します。
④	ダッシュカメラのステータス。
⑤	現在の車両プロフィール。
⑥	バッテリーの状態。
⑦	選択すると、アクティブなルートを停止できます。
⑧	選択すると、アプリのメニューが開きます。アプリドロワーには、お使いのデバイスにある全アプリのショートカットが表示されます。
⑨	音量を調整する時に選択します。
⑩	選択すると、デバイス設定を表示し、ソフトウェアを更新できます。

アプリの起動

ホーム画面には、よく使うアプリのショートカットが表示されます。アプリドロワーには、デバイスにインストールされている全アプリが表示されます。

次のオプションを選択します。

- ・ ホーム画面からアプリのショートカットを選択します。
- ・ し、アプリを選択します。

ステータスバーアイコン

ステータスバーはメインメニューの一番上に配置されています。ステータスバーアイコンはデバイスの機能情報を表示します。アイコンを選択すると、設定変更や詳細情報の表示ができます。

	GPS 信号ステータス GPS の精度と受信した衛星情報を表示し続けます (GPS 信号ステータスを表示する, 59 ページ)。
	Bluetooth®テクノロジーのステータス選択して Bluetooth 設定 (電話設定, 49 ページ) を表示します。
	Wi-Fi®信号強度。選択して Wi-Fi 設定を変更します (ワイヤレスネットワークに接続する, 50 ページ)。
	ハンズフリー通話に接続済み電話をかけるときに選択します (ハンズフリー通話, 35 ページ)。
	アクティブな車両プロフィール。車両プロフィールの設定を表示するときに選択します (車両プロフィールを編集する, 9 ページ)。
	Garmin eLog™ステータス選択して現在の ELD 情報を表示します。アイコンが青の場合、デバイスは Garmin eLog アプリケーションに接続されています。
	現在の時刻選択して時刻を設定します。
	バッテリー充電レベル
	dēzl アプリの接続ステータス (スマートフォンとペアリングする, 34 ページ)。
	温度天気予報を表示するときに選択します (天気予報を表示する, 43 ページ)。
	ダッシュカメラの録画ステータスダッシュカメラのコントロールを開くときに選択します。

タッチスクリーンを使用する

- 画面をタップしてアイテムを選択します。
- 画面を指でドラッグまたはスワイプしてパンまたはスクロールします。
- 画面上で 2 本の指でつまむとズームアウトします。
- 画面上で 2 本の指を広げるとズームインします。

画面の輝度を調整する

- 1  > ディスプレイ > 輝度の順に選択します。
- 2 スライダーバーを使用して、輝度を調整します。

音量を調整する

- 1  を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - スライダーバーを使用して、音量を調整します。
 - デバイスをミュート (消音) にするには、 を選択します。
 - チェックボックスを選択して、詳細なサウンドオプションを有効または無効にします。

車両プロフィール

⚠ 警告

車両のプロフィール特性を入力しても、すべての推奨ルートでその特性が考慮されるわけではありません。また、警告アイコンが表示されない場合もあります。このデバイスではこのような制約や道路状況のすべてを把握できないため、地図データには限界があります。運転中は掲示されている道路標識と実際の道路状況を常に優先してください。

ルート探索およびナビゲーションは、車両プロフィールに基づいて計算されます。有効化された車両プロフィールは、ステータスバーのアイコンで示されます。デバイスのナビゲーション設定と地図設定は、車両タイプごとに個別にカスタマイズできます。

トラックの車両プロフィールを有効化するとき、デバイスは、寸法、重量、および車両に関して入力したその他の特性に基づいて、ルート内の制限区域や通行不能な区域を含めないようにします。

車両プロフィールを追加する

車両の重量、寸法、その他の特性を含めて、車両プロフィールを追加できます。

- 1 ホーム画面から、 > **車両プロフィール** >  を選択します。
- 2 次のオプションを選択します。
 - ・ 常時接続された貨物領域があるストレートトラックを追加するには、**ストレートトラック**を選択します。
 - ・ トラクターまたはトラクターとトレーラーの組み合わせを追加するには、**トラクター**を選択します。
 - ・ バスを追加するには、**バス**を選択します。
- 3 画面上の指示に従って、車両特性を入力します。

車両プロフィールを追加した後、プロフィールを編集して、車両識別番号、トレーラー番号など追加の詳細情報を入力できます ([車両プロフィールを編集する, 9 ページ](#))。

乗用車プロフィール

乗用車プロフィールは、トレーラーのない自動車での使用を目的としたロード済みの車両プロフィールです。乗用車プロフィールを使用している間は、デバイスが普通車のルートを計算するため、大型車のルート指定は使用できません。乗用車プロフィールを使用している間は、大型車に固有の機能および設定が一部使用できません。

車両プロフィールの切り替え

デバイスをオンにするたびに、車両プロフィールの選択を求められます。別の車両プロフィールにいつでも手動で切り替えることができます。

- 1 ステータスバーから、 や  などの車両プロフィールアイコンを選択します。
- 2 車両プロフィールを選択します。

測定値や重量とともに車両プロフィール情報が表示されます。
- 3 **選択**を選択します。

トレーラー情報を変更する

トレーラー情報を変更する前に、トラクターの車両プロフィールを入力する必要があります ([車両プロフィールを追加する, 8 ページ](#))。

トラクターでトレーラーを変更すると、トラクター情報を変更せずに車両プロフィールのトレーラー情報を変更できます。頻繁に使用するトレーラーをすばやく切り替えられます。

- 1 ホーム画面から、 > **車両プロフィール** を選択します。
- 2 トレーラーと使用するトラクターの車両プロフィールを選択します。
- 3  を選択します。
- 4 次のオプションを選択します。
 - ・ 最近のトレーラー構成を使用するには、リストからトレーラー構成を選択します。
 - ・ 新しいトレーラー構成を入力するには、**新しい構成**を選択し、トレーラー情報を入力します。

車両プロフィールを編集する

車両プロファイルを編集して、車両情報を変更したり、新しい車両プロファイルに車両識別番号、トレーラー番号、オドメーター測定値などの詳細情報を追加できます。車両プロファイルの名前を変更したり削除したりすることもできます。

- 1 ホーム画面から、 > **車両プロファイル**を選択します。
- 2 編集する車両プロフィールを選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - 車両プロフィール情報を編集するには、 を選択し、編集するフィールドを選択します。
 - 車両プロフィールの名前を変更するには、 >  > **プロファイル名の変更**の順に選択します。
 - 車両プロフィールを削除するには、 >  > **削除**の順に選択します。

ダッシュカメラ

カメラの位置を合わせる

警告

運転中にカメラの位置合わせを行わないでください。注意が散漫になり、事故につながって重傷を負ったり死亡する可能性があります。

カメラの位置が合っていないと、高度運転者支援機能が正しく機能しない場合があります。ダッシュカメラを取り付けたり配置を変更するたびに、その位置合わせを行う必要があります。

- 1  > **カメラ** > **取り付け位置**の順に選択します。
- 2 **水平位置**を選択し、フロントガラスのデバイスの横方向の位置を選択します。
- 3 **車高**を選択し、車両タイプを選択します。
- 4 **整列**を選択します。
- 5 デバイスを傾けて、カメラを左または右に回転させ、カメラの位置合わせをします。
カメラがまっすぐに向いて、水平線が画面の上下の中央にある必要があります。

ダッシュカメラによる録画

注記

一部の管轄区域では、音声や映像の記録、写真撮影を禁止または規制している場合があります。管轄区域では、すべての関係者が記録についての知識を持ち、音声や映像の記録または写真撮影を行う前に同意の提供を求められる場合があります。管轄区域のすべての法律、規制、およびその他の制限事項を把握し、これに従う責任はお客様にあります。

ダッシュカメラはビデオをカメラのメモリーカードに記録します。デフォルトでは、デバイスをオンになるとすぐにビデオ録画を開始し、オフになるまで録画を続けます。メモリーカードがいっぱいになると、デバイスは未保存の最も古いビデオを自動的に削除して、新しいビデオ用のスペースを確保します。

未保存のビデオをすぐに削除するオプションを有効にすると、デバイスは3分超経過した未保存のビデオを継続的に削除し、電源を切るたびに未保存のビデオをすべて削除します。この機能はカメラ設定で無効にすることができます ([ダッシュカメラの設定](#), 51 ページ)。

ビデオ録画を保存して、上書きまたは削除されないようにすることができます。

ダッシュカメラの録画の保存

新しいビデオで上書きされないように、録画済みのビデオの一部を保存できます。デフォルトでは、デバイスはセンサを使用して偶発的な衝突の可能性を検出し、検出したイベントの前、最中、および後のビデオ映像を保存します。ビデオはいつでも手動で保存することもできます。

- 1 ダッシュカメラの録画中に、**カメラ** >  を選択します。
デバイスは、 を選択する前、最中、および後のビデオ映像を保存します。
- 2  を再度選択すると、保存される録画時間を延長できます (オプション)。
ビデオが保存されていることを示すメッセージが表示されます。

ダッシュカメラによる録画を停止 / 開始する

- 1 **カメラ** を選択します。
- 2 次のオプションを選択します。
 - 録画を停止するには、 を選択します。
ヒント：デフォルトでは、デバイスを次回オンにすると、録画は自動的に開始されます。このオプションはカメラ設定で無効にすることができます ([ダッシュカメラの設定, 51 ページ](#))。
 - 録画を開始するには、 を選択します。

オーディオの録音をオンまたはオフにする

注記

一部の管轄区域では、車内での音声録音を禁止していたり、車内で音声を録音する前に、すべての乗客が録音について認識して同意することを要求している場合があります。お客様の責任において、管轄区域の法律と制限をすべて認識し、それを遵守する必要があります。

このデバイスでは、ビデオの録画中に内蔵のマイクを使用してオーディオを録音できます。オーディオの録音はいつでもオンまたはオフにすることができます。

 > **カメラ** > **録音する** を選択します。

ビデオや写真を表示する

注：ビデオや写真の再生中は、ビデオの録画が停止されます。

- 1 **ギャラリー** > **はい** を選択します。
- 2 ビデオまたは写真を選択します。
デバイスにビデオまたは写真が表示されます。ビデオの再生は自動的に始まります。ビデオまたは写真に位置情報が含まれる場合は、地図にその位置が表示されます。

コンピュータ上のビデオ

メディアは、カメラのメモリーカードの DCIM フォルダに保存されます。ビデオは MP4 ファイル形式で保存され、写真は JPG 形式で保存されます。メモリーカードまたはデバイスをコンピュータに接続すると、メディアを表示したり転送したりできます。

メディアが複数のフォルダに分類されます。

100EVENT: デバイスによるインシデント検出時に自動保存されたビデオが格納されます。

101SAVED: ユーザーが手動で保存したビデオが格納されます。

102PHOTO: 写真が格納されます。

104UNSD: 未保存のビデオ映像が格納されます。未保存のビデオのストレージ容量が不足すると、最も古い未保存のビデオが上書きされます。

ビデオまたは写真を削除する

- 1 **ギャラリー** > **はい** を選択します。
- 2 ビデオまたは写真を選択します。
- 3  > **はい** の順に選択します。

Vault ストレージ

注：この機能はすべての国で利用できるわけではありません。

Vault を使用して、安全なオンラインストレージドライブにダッシュカメラの映像をアップロード、管理、共有できます。ダッシュカメラは、Wi-Fi ネットワークに接続されている間、保存されたビデオを Vault に自動的にアップロードします。

スマートフォンの dēzl アプリからオプションの Vault サブスクリプションを購入できます。

注：この機能を使用するには、ダッシュカメラが Wi-Fi ネットワークに接続されている必要があります。

Vault へのサブスクリプション登録

オプションの Vault サブスクリプションを購入して、ビデオを安全なオンラインストレージサーバーに保存できます。

- 1 スマートフォンの dēzl アプリでデバイスを選択します。
- 2 **設定 > Vault ストレージ > プランを選択**を選択します。
- 3 画面に表示される手順に従います。

ビデオを共有する

Vault から、ダッシュカメラビデオへの安全なリンクを共有できます。

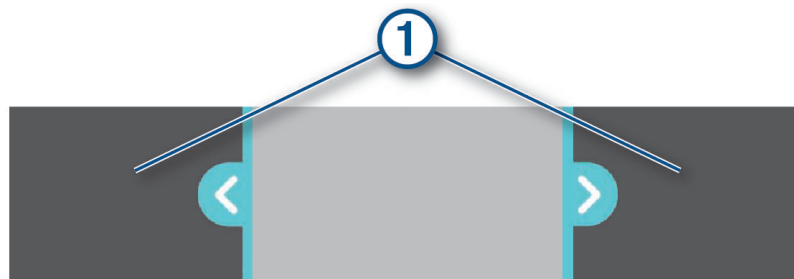
- 1 スマートフォンの dēzl アプリで、**Vault** を選択します。
- 2 ビデオを選択し、**安全な共有**を選択します。
- 3 画面に表示される手順に従います。

ビデオの編集とエクスポート

ビデオを Vault にエクスポートする前に、ビデオの長さをカットして不要な映像を削除できます。

注：Vault に保存されているビデオはトリムできません。

- 1 ビデオの表示中に、ビデオ進行状況バーのトリミングハンドル ① を左右にドラッグして、ビデオの長さをトリミングします。



- 2 **オーディオを含める**チェックボックスをオンにして、録音されたオーディオを含めます (オプション)。
- 3 **エクスポート**を選択します。
注：ビデオのエクスポート中は、アプリを前面に表示しておく必要があります。
アプリは、トリムされたビデオを Vault にエクスポートします。
- 4 ビデオのエクスポートが完了したら、オプションを選択します：
 - ・ビデオをスマートフォンに保存するには、**スマートフォンに保存**を選択します。
 - ・カメラのメモリーカードからビデオを削除するには、**カメラから削除**を選択します。
 - ・ギャラリーに戻るには、**完了**を選択します。

共有ビデオリンクを無効化

Vault から以前に共有したビデオへのリンクを無効にすることができます。共有ビデオリンクを無効にすると、ビデオは非公開に設定され、共有リンクとパスコードが無効になります。

- 1 スマートフォンの **dēzl** アプリで、**Vault** を選択します。
- 2 ビデオを選択し、**リンクを無効にする > 続行**を選択します。

Vault からのビデオの削除

- 1 スマートフォンの **dēzl** アプリで、**Vault** を選択します。
- 2 ビデオを選択し、**{0}から削除する > 続行**を選択します。

ドライバーへの注意喚起の機能とアラート

⚠ 注意

ドライバーアラートと制限速度機能は情報提供を行っているだけであり、すべての速度制限標識を守り、安全な運転の判断を行う責任はいかなる場合でも運転者にあります。Garmin®は、適用されるすべての交通法規および標識に違反したことにより受ける罰金または出頭命令については一切責任を負いません。

このデバイスは、慣れ親しんだ地域で運転している場合でも、より安全な運転や効率の向上に役立つ機能を備えています。デバイスは、アラートごとに通知音または音声メッセージを再生し、情報を表示します。一部の運転者アラートについて通知音をオン / オフできます。アラートによっては、利用できない地域もあります。

学校: デバイスが通知音を再生し、この先の学校やスクールゾーンに関する制限速度 (ある場合) を表示します。

制限速度超過: 現在の道路に掲示されている制限速度を超えると、デバイスは速度制限アイコンに赤枠を表示します。

制限速度低下: デバイスは通知音を再生し、この先の制限速度を表示するため、速度を調節する準備ができます。

一方通行を逆走しています: 一方通行を逆走している場合、デバイスはメッセージを再生し、全画面の警告を表示します。一方通行路を離れるか走行方向を正しくするまで、画面の縁が赤色で表示され、アラートが画面上部に表示されたままになります。

踏切: デバイスには、次の踏切までの距離が表示されます。

動物出没: デバイスが通知音を再生し、この先の動物出没エリアを示します。

カーブ: デバイスが通知音を再生し、道路のカーブを示します。

渋滞: 渋滞に速い速度で近づくと、デバイスが通知音を再生し、渋滞が発生していることを示します。この機能を使用するには、デバイスでトラフィック情報を受信している必要があります ([トラフィック](#), 36 ページ)。

工事ゾーン: 工事ゾーンに接近すると、デバイスが通知音を再生してメッセージを表示します。

車線閉鎖: 車線閉鎖に接近すると、デバイスが通知音を再生してメッセージを表示します。

休憩の計画: 長時間運転し続けていると、デバイスが通知音を再生し、この先の休憩場所を提案します。

トラック走行禁止: トラックの走行が禁止されている道路に接近すると、デバイスは通知音を再生します。

接地の危険あり: 車両が接地する可能性のある道路に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

つづら折れ: つづら折れのリスクがある道路に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

道幅減少: 車両が通過するには狭すぎる道路に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

急な下り坂: 急な下り坂に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

州および国の境界: 州または国の境界に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

前方衝突警告: デバイスは、自車と前走車との間に安全な車間距離ないことを検出すると警告を発します。

車線逸脱警告: デバイスは、意図せず車線境界を越えている可能性があることを検出すると、警告を出します。

ドライバーアラートを有効または無効にする

数種類のドライバーアラートを有効または無効にすることができます。

- 1  > 安全運転支援 > ドライバーアラートの順に選択します。
- 2 各アラートの横にあるチェックボックスをオンまたはオフにします。

赤信号カメラとスピードカメラ

注記

Garmin は、赤外線カメラやスピードカメラのデータベースの正確性、またはその使用による影響に対して一切の責任を負いません。

注：この機能は、一部の国、または製品モデルではご利用いただけません。

製品モデルによっては、一部地域で赤信号カメラおよびスピードカメラの位置に関する情報が利用できます。報告されたスピードカメラや赤信号カメラに近づくと、アラートされます。

- 一部の地域では、dēzl アプリを実行しているスマートフォンをデバイスに接続すると、赤信号データとスピードカメラのデータを受信できます。
- Garmin Express™ ソフトウェア (garmin.com/express) を使用してデバイスに保存されたカメラデータベースを更新できます。最新のカメラ情報を受信するために、デバイスを頻繁に更新してください。

位置の検索と保存を行う

デバイスにロードされた地図には、レストランやホテル、自動車関連などの場所や詳細なストリート情報が含まれています。目的地検索メニューは、参照、検索、情報の保存のために利用できる複数の方法により、目的地の検索に役立ちます。

メインメニューで目的地検索を選択します。

- デバイス上のすべての場所をすばやく検索するには、 検索を選択します (検索バーを使用して位置を検索する, 14 ページ)。
- 住所を検索するには、住所を選択します (住所を検索する, 14 ページ)。
- カテゴリーごとにロード済みのジャンル別施設を参照または検索するには、カテゴリーを選択します (カテゴリーを入力して位置を検索する, 17 ページ)。
- 別の都市や地域の周辺を検索するには、現在の検索エリアを選択し、新しい検索エリアを選択します (検索エリアを変更する, 16 ページ)。
- 保存済み位置情報を表示および編集するには、保存済みを選択します (位置を保存する, 19 ページ)。
- 最近検索結果から選択した場所を表示するには、最近表示した項目を選択します (最近検索した位置を表示する, 18 ページ)。
- トラックストップ、トラック駐車場、トラックサービスを検索するには、カテゴリー > トラッキングを選択します (トラックのジャンル別施設を検索する, 16 ページ)。
- Foursquare® のジャンル別施設を参照および検索するには、Foursquare を選択します。
- TripAdvisor® トラベラー評価を参照および検索するには、Tripadvisor を選択します (Tripadvisor, 17 ページ)。
- 特定の地理座標に移動するには、座標を選択します (座標を使用して位置を検索する, 18 ページ)。

検索バーを使用して位置を検索する

検索バーでは、カテゴリー、ブランド名、住所、または都市名を入力して位置を検索します。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 検索バーで **検索** を選択します。
- 3 検索語の全体または一部を入力します。
検索語の候補が検索バーの下に表示されます。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 業種名を検索するには、「映画館」などのカテゴリー名を入力します。
 - ・ 店名を検索するには、名前の一部またはすべてを入力します。
 - ・ 現在地の住所を検索するには、番地またはストリート名を入力します。
 - ・ 別の都市の住所を検索するには、州名、都市名、ストリート名および番地を入力します。
 - ・ 都市を検索するには、州名および都市名を入力します。
 - ・ 座標を検索するには、緯度 / 経度を入力します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 検索語の候補を使用して検索するには、検索語を選択します。
 - ・ 入力したテキストを使用して検索するには、 を選択します。
- 6 必要に応じて、位置を選択します。

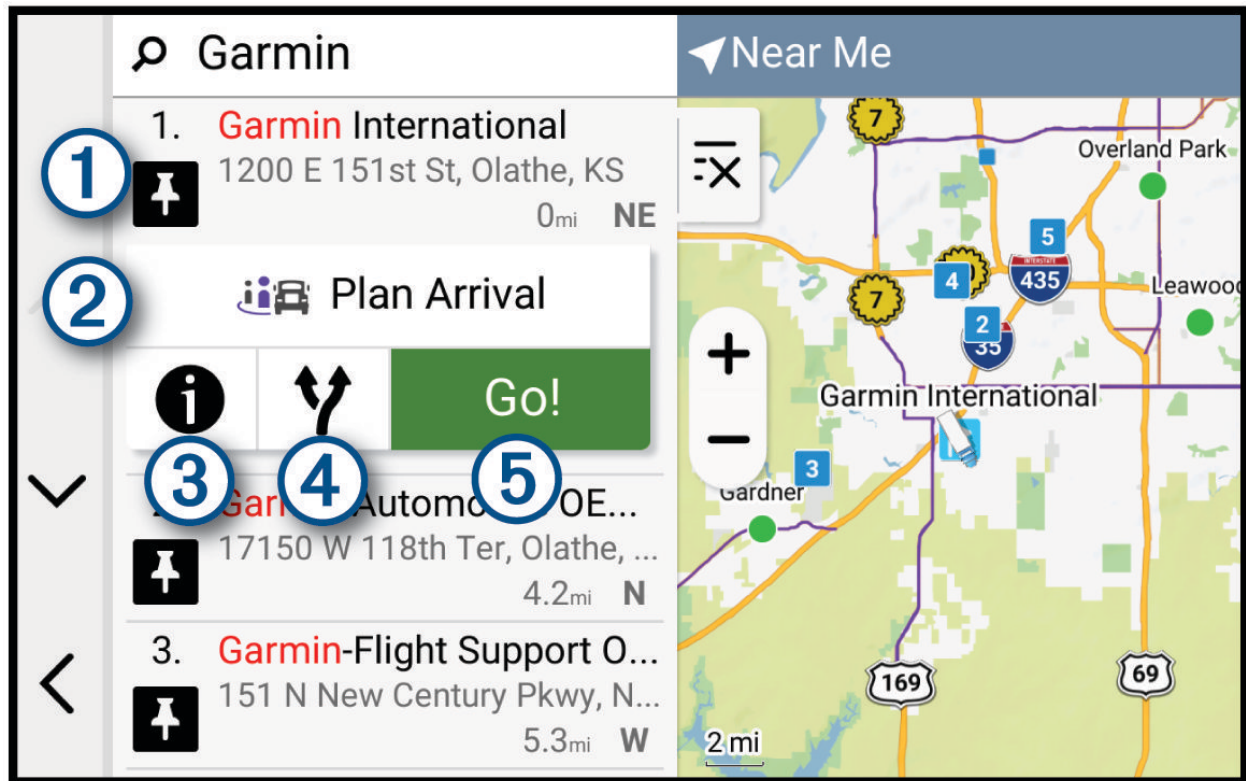
住所を検索する

注：デバイスにロードした地図データによっては、手順が異なる場合があります。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 必要に応じて、[現在の検索エリア] を選択して別の都市や地域の周辺を検索します。
- 3 住所を選択します。
- 4 画面に表示される指示に従い、住所情報を入力します。
- 5 番地等を選択します。

場所検索の結果

場所検索の結果はリストに表示され、最も近い場所が一番上に表示されます。番号付きの各場所はマップ上にも表示されます。下にスクロールしてより多くの結果を表示できます。

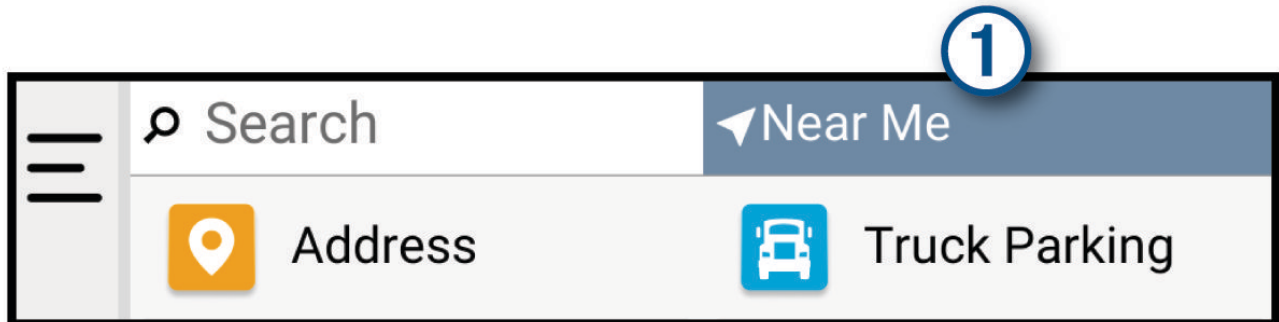


①	場所を選択してオプションメニューを表示します。
② 到着計画	目的地の地図の表示を選択して、トラックの目的地を見つけます。
③ ⓘ	選択すると、場所に関する詳細情報が表示されます。
④ ↻	選択すると、場所への代替ルートが表示されます。
⑤ 出発！	選択して、推奨ルートを使用して場所へのナビゲーションを開始します。

検索エリアを変更する

デフォルトでは、デバイスは現在地に近い場所を検索します。目的地の近く、別の都市の近く、アクティブルート沿いなど別のエリアの検索もできます。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 現在の検索エリア ① を選択します。



- 3 検索エリアを選択します。
 - 4 必要に応じて、画面の指示に従って、特定の場所を選択します。
- 選択した検索エリアが画面上部に表示されます。目的地検索メニューのオプションを使用して場所を検索すると、そのエリアの近くにある場所が提案されます。

ジャンル別施設

注記

ユーザーはジャンル別施設に関連した、適用されるルールや法令、規則を理解して順守する責任があります。

ジャンル別施設は、有用と思われるまたは興味深い場所です。ジャンル別施設は、カテゴリー別に分類されガソリンスタンド、レストラン、ホテル、娯楽施設などよく知られた移動先を含めることができます。

トラックのジャンル別施設を検索する

注記

ユーザーはジャンル別施設に関連した、適用されるルールや法令、規則を理解して順守する責任があります。

デバイスにロードされた詳細地図には、トラックストップ、サービスエリア、計量場所など、トラックのジャンル別施設が含まれています。

目的地検索 > カテゴリー > トラッキングの順に選択します。

TruckDown® ジャンル別施設 (POI) を検索する

TruckDown デレクトリでは、トラック修理場、タイヤ販売業者など、トラック関連企業が一覧表示されます。TruckDown デレクトリは北米でのみ利用できます。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - トラックと互換性があるジャンル別施設を検索するには、**Truck Locations** を選択します。
 - **Truck Services** を選択して、トラック向けのサービスの場所を検索します。
- 3 カテゴリーを選択します。
- 4 必要に応じて、**施設とブランドでフィルタリング**を選択し、1 つ以上の施設を選択して**保存**を選択します。

注：このオプションは、トラックストップにのみ利用できます。
- 5 目的地を選択します。

CAT Scale の位置を検索する

含まれているデータベースを使用して、北米の CAT Scale の位置を検索できます。

- 1 目的地検索 > CAT Scale を選択します。
- 2 目的地を選択します。

Tripadvisor

注記

Garmin は Tripadvisor 情報の正確性または適時性について責任を負いません。

ユーザーはジャンル別施設 (POI) に関連した、適用されるルールや法令、規則を理解して順守する責任があります。

お使いのデバイスには、Tripadvisor トラベラー評価が含まれています。Tripadvisor 評価は、自動的に該当する施設リスト (レストラン、ホテル、アトラクション) の検索結果に表示されます。近くの Tripadvisor ジャンル別施設を検索して、距離または人気度に基づき並べ替えすることもできます。

Tripadvisor ジャンル別施設 (POI) を検索する

- 1 目的地検索 > Tripadvisor を選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3 必要に応じて、サブカテゴリーを選択します。
そのカテゴリーに該当する、近くの Tripadvisor ジャンル別施設のリストが表示されます。
- 4 表示されたジャンル別施設を距離または人気度でフィルタリングするには、結果を並べ替えるを選択します (オプション)。
- 5  を選択し、検索項目を入力します (オプション)。

Foursquare

注記

Garmin は、Foursquare によって提供される情報の正確性または適時性について責任を負いません。

ユーザーはジャンル別施設 (POI) に関連した、適用されるルールや法令、規則を理解して順守する責任があります。

Foursquare は、場所に基づくソーシャルネットワークです。お使いのデバイスには Foursquare の数百万のジャンル別施設が事前にダウンロードされており、場所検索の結果に Foursquare ロゴで示されます。

Foursquare のジャンル別施設を検索する

デバイスにロードした Foursquare のジャンル別施設を検索できます。

目的地検索 > Foursquare の順に選択します。

Foursquare の場所の詳細を表示する

Foursquare 位置情報とユーザー評価を表示できます。

- 1 場所についての検索の結果から Foursquare のジャンル別施設を選択します。
- 2  を選択します。

カテゴリーを入力して位置を検索する

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 カテゴリーを選択するか、またはカテゴリーを選択します。
- 3 必要に応じて、サブカテゴリーを選択します。
- 4 位置を選択します。

駐車場

トラック駐車場を検索する

- 1 目的地検索 > 駐車場の順に選択します。
- 2 駐車場を選択します。
- 3 出発！を選択します。

Truck Parking Europe を使用する

dēzl デバイスを dēzl アプリとペアリングして、Truck Parking Europe アカウントにログインすると、ナビゲーションデバイスで駐車場情報と評価を確認できます。

注：この機能はヨーロッパでのみ利用できます。

- 1 目的地検索 > Truck Parking Europe の順に選択します。
- 2 必要な場合は、施設とブランドでフィルタリングを選択し、1 つ以上の属性を選択して、検索を選択します。
- 3 駐車場を選択します。
- 4 出発！を選択します。

現在の場所近くの駐車場を検索する

- 1 目的地検索 > カテゴリー > 駐車場を選択します。
- 2 駐車場を選択します。
- 3 出発！を選択します。

検索ツール

検索ツールでは、画面に表示される指示に従って、特定の位置を検索できます。

交差点を検索する

- 2 本のストリート、幹線道路、またはその他の道路の間にある交差点またはジャンクションを検索できます。
- 1 目的地検索 > 交差点の順に選択します。
 - 2 画面に表示される指示に従い、ストリート情報を入力します。
 - 3 交差点を選択します。

座標を使用して位置を検索する

緯度 / 経度を指定して、位置を検索できます。

- 1 目的地検索 > 座標を選択します。
- 2 必要に応じて、 を選択し、座標形式やデータを変更します。
- 3 座標を選択します。
- 4 緯度と経度の座標を入力し、完了を選択します。
- 5 次のオプションを選択します。
 - ・ 座標を場所として保存するには、保存を選択します。
 - ・ その座標までのルートを開始するには、出発！を選択します。

最近検索した位置を表示する

デバイスには、過去に検索した場所の履歴が最新の 50 件保存されています。

目的地検索 > 最近表示した項目を選択します。

最近検索した場所のリストを消去する

目的地検索 > 最近表示した項目 >  > 消去 > はいを選択します。

現在地情報を表示する

[現在地の確認] ページを使用して、現在地に関する情報を表示できます。この機能は、緊急時に 110 番や 119 番で自分のいる場所を知らせる場合に便利です。

地図で、車両を選択します。

緊急時サービスとガソリンスタンドを検索する

[現在地の確認] ページを使用して、直近の病院、警察署、およびガソリンスタンドを検索できます。

1 地図で、車両を選択します。

2 病院、警察署、トラックストップ、またはガソリンスタンドを選択します。

注：サービスカテゴリーの中には、すべてのエリアでは提供されていないものもあります。

注：トラックの車両プロファイルがアクティブなとき、ガソリンスタンドの代わりにトラックストップのオプションが表示されます。

選択したサービスの場所のリストが表示され、最寄りの場所が一番上に表示されます。

3 位置を選択します。

4 次の中からオプションを選択します。

- ・ その場所までのナビゲーションを開始するには、**出発！**を選択します。
- ・ 電話番号や場所に関するその他の詳細を表示するには、**i**を選択します。

現在地への道順を表示する

自分が現在いる位置への道順を誰かに知らせる必要がある場合、道順のリストを表示できます。

1 地図で、車両を選択します。

2 **三** > **現在地までの道順**の順に選択します。

3 始点を選択します。

4 **選択**を選択します。

ショートカットを追加する

[目的地検索] メニューにショートカットを追加できます。ショートカットから、位置、カテゴリー、または検索ツールを直接参照できます。

[目的地検索] メニューには 36 個までのショートカットアイコンを追加できます。

1 **目的地検索** > **ショートカットの追加**の順に選択します。

2 アイテムを選択します。

ショートカットを削除する

1 **目的地検索** > **三** > **ショートカットの削除**を選択します。

2 削除するショートカットを選択します。

3 確認のため再度ショートカットを選択します。

4 **完了**を選択します。

位置を保存する

位置を保存する

1 位置を検索します (**カテゴリーを入力して位置を検索する**, 17 ページ)。

2 検索結果から位置を選択します。

3 **i** > **保存**を選択します。

4 必要に応じて、名前を入力し、**完了**を選択します。

5 **保存**を選択します。

互換性のあるスマートフォンで dēzl アプリに接続している間、保存された場所は Garmin アカウントに自動的に同期されます。

現在地を保存する

- 1 地図で、車両アイコンを選択します。
- 2 保存を選択します。
- 3 名前を入力し、完了を選択します。

保存した位置を編集する

- 1 目的地検索 > 保存済みを選択します。
- 2 必要に応じて、カテゴリーを選択します。
- 3 位置を選択します。
- 4 編集を選択します。
- 5 次のオプションを選択します。
 - ・ 名前を選択します。
 - ・ 地図上に保存した位置をマークするために使用する記号を変更するには、地図記号を選択します。
 - ・ コレクションを選択して、保存したコレクションカテゴリーに場所を追加/削除します。
 - ・ 座標を選択して、場所の GPS 座標を編集します。
- 6 情報を編集します。
- 7 完了を選択します。

保存した位置を削除する

注：削除された位置情報を復元することはできません。

- 1 目的地検索 > 保存済みを選択します。
- 2 ウェイポイントを選択します。
- 3 編集 > 削除 > はいを選択します。

目的地へのナビゲーション

ルート

ルートとは、現在地から 1 つ以上の目的地までの経路のことです。

- ・ デバイスは、ルート計算モード (ルート探索方法を変更する, 26 ページ) や回避 (遅延、有料道路、およびエリアを回避する, 26 ページ) などで設定した環境設定に基づいて、目的地までの推奨ルートを計算します。
- ・ デバイスは、アクティブな車両プロファイルに適していない道路を自動的に回避します。
- ・ ユーザーは、推奨ルートを使用して目的地へのナビゲーションをすばやく開始することも、代替ルートを選択することもできます (ナビゲーションを開始する, 21 ページ)。
- ・ 使用または回避したい特定の道路がある場合は、ルートをカスタマイズできます (ルートを形成する, 25 ページ)。
- ・ ルートに複数の目的地を追加できます (ルートに場所を追加する, 25 ページ)。

ナビゲーションを開始する

- 1 目的地検索を選択し、場所を検索します (位置の検索と保存を行う, 13 ページ)。
- 2 位置を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 推奨ルートを使用してナビゲーションを開始するには、出発！を選択します。
 - ・ 代替ルートを指定するには、**Y**を選択し、ルートを選択します。
地図の右側に代替ルートが表示されます。
 - ・ ルートの経路を編集するには、**Y** > ルートの編集を選択し、ルートにシェイピングポイントを追加します (ルートを形成する, 25 ページ)。

デバイスは場所までのルートを計算し、音声案内と地図上の情報によりルートを案内します (地図上のルート, 22 ページ)。ルートにある主要な道路のプレビューが地図の端に数秒間表示されます。

追加の目的地で停止する必要がある場合、ルートに場所を追加できます (ルートに場所を追加する, 25 ページ)。

地図を使用してナビゲーションを開始する

地図から場所を選択してナビゲーションを開始できます。

- 1 地図表示を選択します。
- 2 地図をドラッグおよび拡大 / 縮小して、検索する範囲を表示します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 位置マーカーを選択します。
 - ・ ストリート、交差点、または住所位置などのポイントを選択します。
- 4 出発！を選択します。

帰宅する

初めて自宅へのルートを開始すると、自宅の場所の入力を求めるメッセージがデバイスに表示されます。

- 1 目的地検索 > 自宅へを選択します。
- 2 必要に応じて、自宅の場所を入力します。

自宅の場所を編集する

- 1 目的地検索 > **三** > 自宅登録を選択します。
- 2 自宅の場所を入力します。

地図上のルート

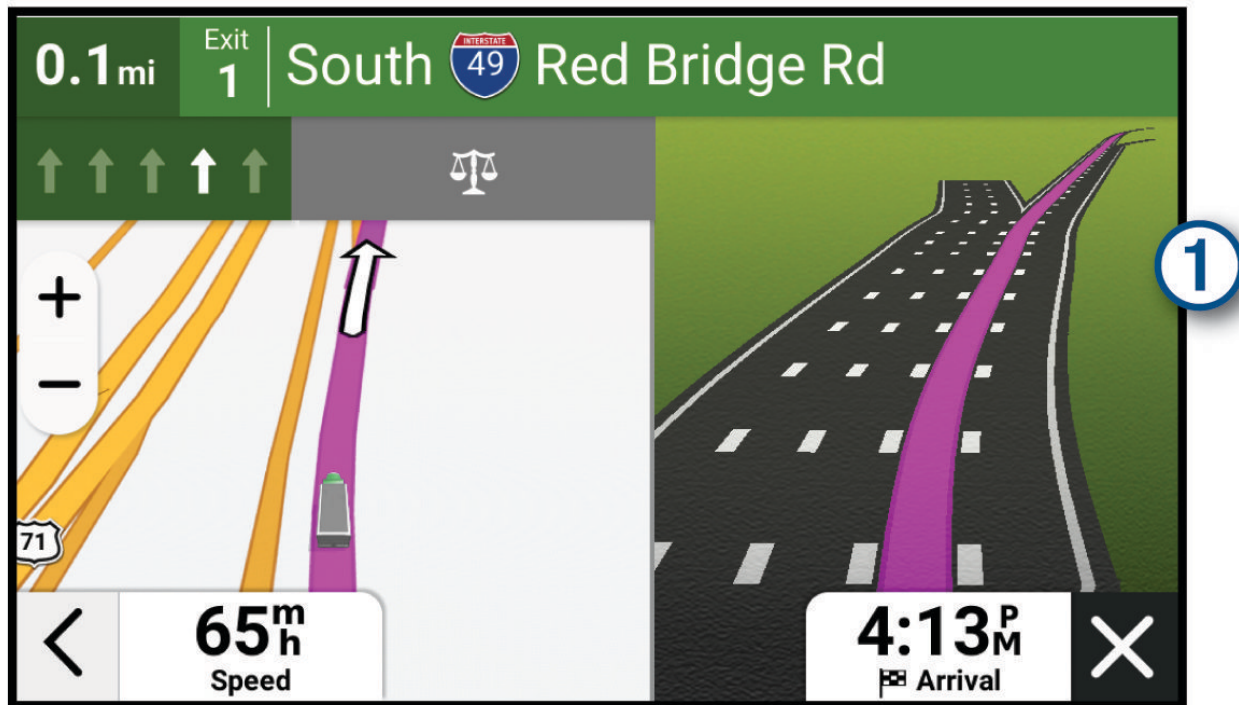
走行中、デバイスは、音声と地図上の情報で、目的地までのルートを案内します。方向転換地点や出口、またはその他のアクションに関する指示は、地図の一番上に表示されます。



①	ルートでの次のアクション。次の方向転換、出口、その他のアクションおよび（利用可能な場合）走行すべきレーンを示します。
②	次のアクションまでの距離。
③	次のアクションに関連する通りや出口の名前。
④	地図上に強調表示されたルート。
⑤	地図ツール。ツールを選択すると、ルートと周辺の詳細情報を表示できます。
⑥	データフィールド ヒント：このフィールドをタッチして表示情報を変更できます（ 地図データフィールドを変更する , 33 ページ）。

アクティブ車線案内

ルートで転換地点、出口、またはインターチェンジに近づくと、道路の詳細なシミュレーションがある場合は地図の横に表示されます。色付きの線①が方向転換する車線を示します。



地図上に人気のトラックパスを表示する

デバイスで、地図上に人気のトラックパスを強調表示することができます。これは、あなたの車両がよりアクセスしやすい道を選ぶのに役立つことがあります。

地図から、を選択します。

方向転換と方向指示を表示する

ルートのナビゲーション中に、ルートのこの先の方向転換、レーン変更、その他の方向指示を表示できます。

1 地図から、オプションを選択します。

- ・ ナビゲーションする際にこの先の方向転換や方向指示を表示するには、 > 方向転換を選択します。

地図ツールには、地図の横に次の複数の方向転換や方向指示が表示されます。ルートをナビゲーションするにつれて、このリストは自動的に更新されます。

- ・ ルート全体の方向転換と方向指示の完全なリストを表示するには、地図上部のテキストバーを選択します。

2 方向転換または方向指示を選択します (オプション)。

詳細情報が表示されます。利用可能な場合は、主要な分岐点が画像で表示されます。

地図にルート全体を表示する

1 ルートのナビゲーション中に、地図上の任意の場所を選択します。

2 を選択します。

到着を計画する

ルートを開始する前に、人気のトラック目的地（積降場やトラック駐車場など）に到着するように、ルートの終点を計画できます。独自の目的地を地図に追加することもできます。

1 目的地検索を選択し、場所を検索します (位置の検索と保存を行う, 13 ページ)。

2 位置を選択します。

3 到着計画を選択します。

目的地のプレビューが地図に表示されます。人気のトラックの目的地が地図の横に表示されます。dēzl デバイスが dēzl アプリとペアリングされている場合は、BirdsEye 衛星イメージが自動的にダウンロードされます。

4 目的地を選択し、出発！を選択します。

目的地に到着する

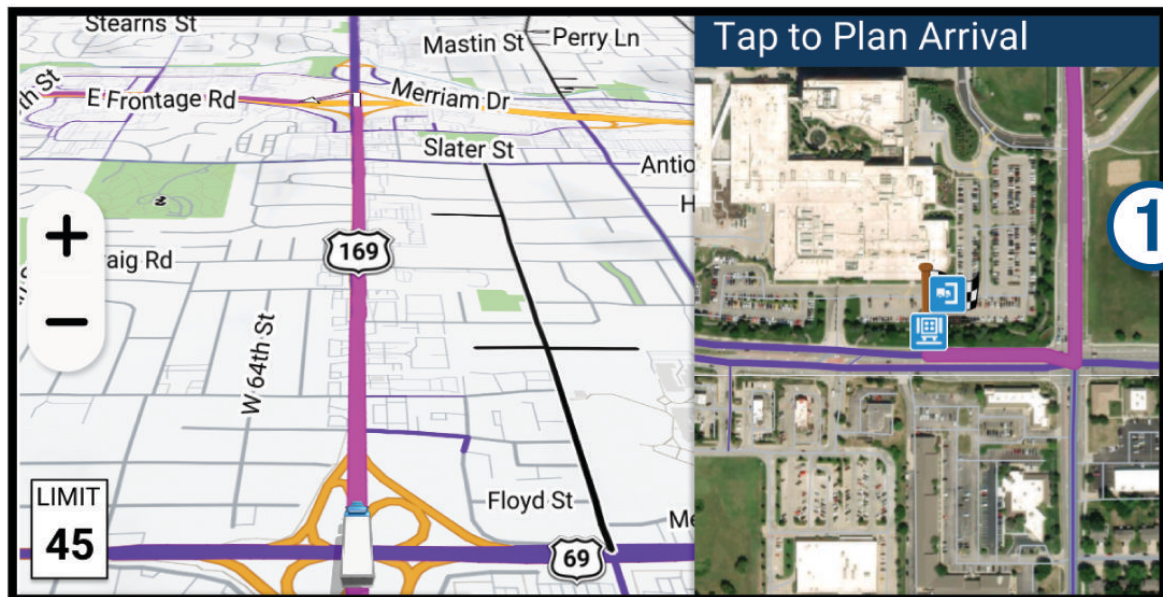
目的地に近づくと、デバイスはルートの達成に役立つ情報を提供します。

- 📍は地図上の目的地の場所を示し、音声プロンプトが目的地に近づいていることを知らせます。
- トラックの車両プロフィールを使用しているときに目的地に近づくと、デバイスは自動的にトラックの目的地（荷積みドックやトラック駐車場など）を検索するように指示します。マップ上の推奨ポイントを選択し、出発！を選択して目的地まで移動できます。
- 目的地で停車した場合、デバイスはルートを自動的に終了します。デバイスが到着を自動的に検出しない場合は、**二** > 停止の順にを選択してルートを終了できます。

トラックルートの完了

トラックの目的地に近づくと、駐車場や荷積みドックなど、トラックの人気の目的地を見つけるのに役立つ地図ツールが表示されます。

1 地図ツール ① を選択します。



2 地図をタッチして、トラック目的地を選択します。

3 出発！を選択します。

目的地の近くの駐車場

デバイスは、目的地の近くの駐車場所を探すのに役立ちます。一部の目的地に近づくと、デバイスが自動的に駐車場を提案します。

注：この機能は、車両プロフィールを使用している場合にのみ使用してください。トラックの車両プロフィールを使用している場合は、目的地の近くにあるトラック駐車場を検索できます ([トラック駐車場を検索する, 18 ページ](#))。

1 次のオプションを選択します。

- ・ デバイスが駐車場を提案したら、**高**を選択して、推奨駐車場のすべてを表示します。

注：任意の推奨駐車場を選択すると、ルートが自動的に更新されます。

- ・ デバイスが駐車場所を提案しない場合は、**目的地検索 > カテゴリー > 駐車場**を選択し、検索エリアの**目的地の近く**を選択します。

2 駐車場を選択し、**出発！**を選択します。

デバイスは、駐車場にガイドします。

アクティブルートを変更する

ルートに場所を追加する

ルートに場所を追加する前に、ルートをナビゲートしている必要があります ([ナビゲーションを開始する, 21 ページ](#))。

ルートの途中または最後に場所を追加できます。たとえば、ルートの次の目的地としてガソリンスタンドを追加できます。

ヒント：複数の目的地またはスケジュールされた経由地がある複雑なルートを作成するには、ルートプランナーを使用して、ルートの計画、スケジュール、および保存ができます ([ルートを計画する, 42 ページ](#))。

1 地図から、**< > 目的地検索**を選択します。

2 位置情報 (**位置の検索と保存を行う, 13 ページ**)を検索します。

3 位置を選択します。

4 **出発！**を選択します。

5 次のの中からオプションを選択します。

- ・ ルートの次の目的地として場所を追加するには、**次の経由地を追加**を選択します。
- ・ ルートの最後に場所を追加するには、**最後の経由地追加**を選択します。
- ・ 場所を追加して、ルートでの目的地の順序を編集するには、**アクティブルートに追加**を選択します。

デバイスは、追加された場所を含めるためにルートを再計算し、順番に目的地までのルートを案内します。

ルートを形成する

ルートを形成するには、ルートのナビゲーションを開始する必要があります ([ナビゲーションを開始する, 21 ページ](#))。

手動でルートを形成してコースを変更できます。これにより、ルートに経由地を追加せずに、特定の道路を使用するようにルートの方向を選択したり特定の地域を通過することができます。

1 地図で、**≡ > ルートの編集 > ルートを形成する**の順に選択します。

デバイスがルート形成モードになります。

2 地図上の場所を選択して、シェイピングポイントを作成します。

ヒント：**+**を選択して地図を拡大表示し、より正確に場所を選択することができます。

3 必要に応じて、オプションを選択します。

- ・ ルートにさらにシェイピングポイントを追加するには、地図上で追加の場所を選択します。
- ・ シェイピングポイントを削除するには、シェイピングポイントを選択し、**✖**を選択します。

4 **✓**を選択します。

迂回路を検索する

ルート上の指定した距離の迂回路または特定の道路周辺の迂回路を検索できます。これは、工事ゾーン、道路閉鎖、または走行が難しい道路条件が発生したときに役立ちます。

- 1 地図で、 > **ルートの編集**を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - 距離を指定して迂回するには、**距離で迂回**を選択します。
 - ルート上の特定の道路を迂回するには、**道路別迂回路**を選択します。

ルート探索方法を変更する

- 1  > **ナビゲーション** > **計算モード**を選択します。
- 2 次のオプションを選択します。
 - **時間優先**を選択すると、一番早く目的地に到達できるルートを計算しますが、走行距離は長くなることがあります。
 - **直行**を選択すると、ポイント間のルートを直線で計算します。

ナビゲーションを停止する

- 地図で、 > **停止**を選択します。
- ホーム画面で、**停止**を選択します。

推奨ルートを利用する

この機能を使用する前に、1つ以上の位置を保存して、走行履歴機能を有効にする必要があります ([デバイス設定と製品情報, 52 ページ](#))。

myTrends™ 機能を使用すると、走行履歴、特定の曜日や時刻に基づいてデバイスが目的地を予測します。保存した位置まで数回走行すると、地図上のナビゲーションバーに予定移動時間およびトラフィック情報と共にその位置が表示されます。

位置までのルート候補を表示するには、ナビゲーションバーを選択します。

遅延、有料道路、およびエリアを回避する

ルート上の交通遅延を回避する

交通の遅延を回避する前に、トラフィック情報を受信している必要があります ([スマートフォンを使用してトラフィックデータを受信する, 36 ページ](#))。

デフォルトでは、デバイスは自動的にルートを最適化して交通遅延を回避します。[**トラフィック設定**] でこのオプションを無効にしている場合 ([トラフィック設定, 51 ページ](#))、手動で交通遅延を表示し、回避できます。

- 1 ナビゲーションの実行中に、 > **トラフィック**を選択します。
- 2 **代替ルート**を選択します (利用可能な場合)。
- 3 **出発!**を選択します。

道路の回避機能

- 1  > **ナビゲーション** > **回避**の順に選択します。
- 2 ルート上で回避したい道路の種類を選択し、**保存**を選択します。

環境ゾーンを回避する

デバイスは、お使いの車両に適用される可能性がある環境または排出制限のある地域を回避できます。このオプションは、アクティブな車両プロフィールにある車両タイプに適用されます ([車両プロフィール](#), 8 ページ)。

- 1  > ナビゲーション > 環境ゾーンの順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - 環境ゾーンを通過する前に毎回確認するには、**常に確認**を選択します。
 - 環境ゾーンを常に回避するには、**回避**を選択します。
 - 環境ゾーンを常に許可するには、**許可**を選択します。
- 3 保存を選択します。

カスタム回避

カスタム回避では、道路を含む特定のエリアまたは区域を選択して回避できます。デバイスは、ルートを計算するときは、他に妥当なルートがない場合を除き、これらのエリアと道路を回避します。

道路を回避する

- 1  > ナビゲーション > カスタム回避の順に選択します。
- 2 必要に応じて、**回避の追加**を選択します。
- 3 **回避道路の追加**を選択します。
- 4 回避する道路区域の始点を選択し、**次へ**を選択します。
- 5 道路区域の終点を選択し、**次へ**を選択します。
- 6 完了を選択します。

エリアを回避する

- 1  > ナビゲーション > カスタム回避の順に選択します。
- 2 必要に応じて、**回避の追加**を選択します。
- 3 **回避エリアの追加**を選択します。
- 4 回避するエリアの左上隅を選択し、**次へ**を選択します。
- 5 回避するエリアの右下隅を選択し、**次へ**を選択します。
選択されたエリアが地図上に影付きで表示されます。
- 6 完了を選択します。

カスタム回避を無効にする

カスタム回避を削除せずに無効にします。

- 1  > ナビゲーション > カスタム回避の順に選択します。
- 2 回避を選択します。
- 3  > 無効の順に選択します。

カスタム回避を削除する

- 1  > ナビゲーション > カスタム回避 >  の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - すべてのカスタム回避を削除するには、**すべて選択 > 削除**の順に選択します。
 - カスタム回避を 1 件削除するには、削除したいカスタム回避を選択し、**削除**を選択します。

地図を使用する

地図を使用してルートのナビゲーションを行うこと ([地図上のルート, 22 ページ](#))やアクティブなルートがないときに周囲の地図を表示することができます。

- 1 地図表示を選択します。
- 2 地図上の任意の場所を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - 地図をドラッグして、上下左右に回転します。
 - 地形や BirdsEye イメージなどの地図レイヤーを追加または削除するには、を選択します。
 - ズームインまたはズームアウトするには、またはを選択します。
 - ノースアップ表示、2D 表示、3D 表示を切り替えるには、を選択します。
 - ルートプランナーを開くには、を選択します ([ルートプランナー, 42 ページ](#))。
 - ルートを開始するには、地図上の場所を選択し、**出発!**を選択します ([地図を使用してナビゲーションを開始する, 21 ページ](#))。

地図ツール

地図ツールを使用すると、地図を表示しながら情報やデバイスの機能にすばやくアクセスできます。地図ツールを有効化すると、地図の端にあるパネルに表示されます。

停止: アクティブルートのナビゲーションを停止します。

カメラ: ダッシュカメラのコントロール表示し、前方衝突警告および車線逸脱警告を表示します。また、ダッシュカメラビューファインダーと運転支援設定を開くこともできます。

ルートの編集: 迂回したり、ルートの場所をスキップしたりできます ([アクティブルートを変更する, 25 ページ](#))。

ビープ音をミュートにする: デバイスの音声をミュートします。

次の都市まで: アクティブルートや高速道路に沿って今後の都市やサービスを表示します ([次の都市まで, 29 ページ](#))。

コースポイント: ルートや走行中の道路沿いの、この先の場所を表示します ([この先, 29 ページ](#))。

高度: 今後の高度変化を表示します。

トラフィック: ルート沿いまたはエリアの交通状況を表示します ([進行方向の交通事故を表示する, 32 ページ](#))。この機能は、一部の地域やデバイスモデルでは利用できません。

出張データ: 速度や距離など、カスタマイズできるトリップデータを表示します ([地図からトリップデータを表示する, 32 ページ](#))。

方向転換: ルートのこの先の方向転換のリストを表示します ([方向転換と方向指示を表示する, 23 ページ](#))。

スマートフォン: 接続されているスマートフォンの最新の通話を表示し、通話中に通話中オプションを表示します ([通話中オプションを使用する, 35 ページ](#))。

天気: エリアの天気状況を表示します。

スピードカメラのレポート: スピードカメラや赤信号カメラを通知できます。このツールは、デバイスにスピードカメラデータや赤信号カメラデータがあり、dēzl アプリへのアクティブな接続がある場合にのみ使用できます。

Garmin eLog: Garmin eLog アプリからのサービス情報の時間を表示します。

音楽: メディアコントロールとメディア情報を表示します。

スマート通知: 接続しているスマートフォンからの最近のスマート通知を表示します ([スマート通知, 34 ページ](#))。

PrePass®: この先の重量検査所およびバイパス決定の通知を表示します ([PrePass®, 41 ページ](#))。

到着計画: 目的地の地図を表示して、トラックの目的地を見つけることができます。

Love's: ルートに沿って今後の Love's Travel Stops®を表示します。

注：この機能は北米でのみ利用可能です。

Pilot Flying J: ルートに沿って今後の Pilot Flying J Travel Centers™を表示します。

注：この機能は北米でのみ利用可能です。

休憩プランナー: 毎日の運転時間、合計運転時間、次の休憩までの時間を表示します。

概要地図: 地図上にルート概要を表示します。

地図ツールを表示する

- 1 地図で  を選択します。
- 2 地図ツールを選択します。
地図ツールが地図の端にあるパネルに表示されます。
- 3 地図ツールを使い終わったら、 を選択します。

この先

コースポイントツールは、ルートや走行中の道路沿いの、この先の場所についての情報を提供します。レストラン、ガソリンスタンド、サービスエリアなど、この先のジャンル別施設をカテゴリーごとに表示できます。カテゴリーをコースポイントツールに表示するようにカスタマイズできます。

この先の場所を表示する

- 1 地図から  > コースポイントを選択します。
走行中、地図ツールは道路またはルートに沿って次の場所を表示します。
- 2 次のの中からオプションを選択します。
 - ・ 地図ツールに複数のカテゴリーが表示されている場合は、1つのカテゴリーを選択すると、そのカテゴリーに関する周辺の場所が一覧で表示されます。
 - ・ 地図ツールに「この先の場所」が表示されている場合は、場所を選択すると、その場所の詳細情報やそこまでのルートが表示されます。

[この先] カテゴリーをカスタマイズする

コースポイントツールで表示する場所カテゴリーを変更できます。

- 1 地図で、 > コースポイントを選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3  を選択します。
- 4 次のの中からオプションを選択します。
 - ・ リスト内のカテゴリーを上下に移動するには、カテゴリー名の横にある矢印を選択してドラッグします。
 - ・ カテゴリーを変更するには、カテゴリーを選択します。
 - ・ カスタムカテゴリーを作成するには、カテゴリーを選択して、**カスタム検索**を選択し、ビジネスまたはカテゴリーの名前を入力します。
- 5 **保存**を選択します。

次の都市まで

高速道路または高速道路を含むルートの走行中に、この先の都市に関する情報が [次の都市まで] ツールに表示されます。各都市の高速道路出口や出入口サービスまでの距離が、高速道路標識と同様に地図ツールに表示されます。

この先の都市や出入口サービスの表示

- 1 地図で、 > 次の都市までを選択します。
高速道路やアクティブルートの走行中に、この先の都市や出口に関する情報が地図ツールに表示されます。
- 2 都市を選択します。
デバイスに、選択した都市や出口にあるジャンル別施設（ガソリンスタンド、宿泊施設、レストランなど）が表示されます。
- 3 場所を選んで、**出発！**を選択すると、ナビゲーションが開始されます。

地図上の道路制限

⚠ 警告

車両のプロフィール特性を入力しても、すべての推奨ルートでその特性が考慮されるわけではありません。また、警告アイコンが表示されない場合もあります。このデバイスではこのような制約や道路状況のすべてを把握できないため、地図データには限界があります。運転中は掲示されている道路標識と実際の道路状況を常に優先してください。

地図上のグレーと黒の道路は、現在の車両プロフィールに関する道路制限を示します。

	配達道路の制限。この道路は、特定の条件下での配達に制限されています。
	その他すべての道路制限。現在の車両プロフィールでは、道路にアクセスできない可能性があります。

警告およびアラート記号

⚠ 警告

車両のプロフィール特性を入力しても、すべての推奨ルートでその特性が考慮されるわけではありません。また、警告アイコンが表示されない場合もあります。このデバイスではこのような制約や道路状況のすべてを把握できないため、地図データには限界があります。運転中は掲示されている道路標識と実際の道路状況を常に優先してください。

警告およびアラート記号が地図上またはルート方向指示に表示され、危険、道路状況、この先の重量検査所をアラートでお知らせします。

制約に関する警告

	車高
	重量
	軸荷重
	長さ
	幅
	トラック走行禁止
	トレーラー走行禁止
	積載品制限
	可燃物/爆発物禁止
	水質汚染物質禁止
	左折禁止
	右折禁止
	Uターン禁止

道路状況に関する警告

	接地の危険あり
	つづら折れ
	道幅減少
	急カーブ
	急な下り坂
	急な上り坂
	樹木の張り出し

アラート

	重量検査所
	トラックについては検証されていない道路

トリップ情報

地図からトリップデータを表示する

地図から、 > 出張データを選択します。

トリップデータフィールドをカスタマイズする

- 1 地図から、 > 出張データの順に選択します。
- 2 トリップデータフィールドを選択します。
- 3 オプションを選択します。
トリップデータ地図ツールに、新しいトリップデータフィールドが表示されます。

走行履歴を参照する

デバイスでは、走行した経路の記録を保持しています。

- 1  > 地図 > 地図レイヤーを選択します。
- 2 走行履歴チェックボックスをオンにします。

トリップ情報をリセットする

- 1 地図で、スピードを選択します。
- 2 トリップ情報のデータ項目を選択します。
- 3  > フィールドのリセットを選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 先頭ページのスピードメーター以外のデータフィールドをすべてリセットするには、ルートのナビゲーションをしていないときに、**すべて選択**を選択します。
 - ・ **全データのリセット**を選択して、トリップ A と合計データをリセットします。
 - ・ 最高速度をリセットするには、**最高速度のリセット**を選択します。
 - ・ オドメーターをリセットするには、**トリップ B のリセット**を選択します。

進行方向の交通事故を表示する

注記

Garmin は交通情報の正確性または適時性について責任を負いません。

この機能を使用するには、デバイスでトラフィックデータ ([トラフィック, 36 ページ](#))を受信している必要があります。

現在のルートや走行中の道路の進行方向にある交通事故を表示できます。

- 1 ルートのナビゲーションの実行中に、 > **トラフィック**の順に選択します。
地図の右側にあるパネルに、進行方向で発生している交通事故のうち、最も近くにあるものが表示されます。
- 2 この交通事故を選択して、追加情報を表示します。

地図上に交通渋滞情報を表示する

交通渋滞地図は、道路状況が色分けされて表示されます。

- 1 メインメニューで、 > **トラフィック**の順に選択します。
- 2 必要に応じて、 > **凡例**を選択し、交通渋滞地図の凡例を表示します。

交通事故情報を検索する

- 1 メインメニューで、 > トラフィックの順に選択します。
- 2  > 事故の順に選択します。
- 3 リストからアイテムを選択します。
- 4 事故が複数地点で発生しているときに別の事故を表示するには、矢印を使用します。

地図をカスタマイズする

地図レイヤーをカスタマイズする

ジャンル別施設を表すアイコンや道路状況など、地図上に表示するデータをカスタマイズできます。

- 1  > 地図 > 地図レイヤーの順に選択します。
- 2 地図に表示したいレイヤーを選択し、**保存**を選択します。

地図データフィールドを変更する

- 1 地図からデータフィールドを選択します。
注：スピードはカスタマイズできません。
- 2 表示するデータの種類を選択します。

地図表示方法を変更する

- 1  > 地図 > 運転地図表示の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ **トラフィック** を選択すると地図が 2D 表示され、進行方向が常に上になるように表示されます。
 - ・ **ノースアップ** を選択すると地図が 2D 表示され、北が常に上になるように表示されます。
 - ・ **3D** を選択すると地図が 3D 表示されます。
- 3 **保存**を選択します。

ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能

警告

運転中は通知を読んだり、操作したりしないでください。注意が散漫となり、事故が発生して重傷または死亡につながるおそれがあります。

dēzl アプリを使用すると、デバイスでスマート通知やライブ情報（ライブトラフィックデータや天気情報など）を受信することができます。

ライブトラフィックデータ: 交通事故や遅延、工事ゾーン、道路閉鎖などのリアルタイムトラフィックデータをデバイスに送信します ([トラフィック, 36 ページ](#))。

天気情報: リアルタイムで天気予報、道路状況、天気レーダーをお使いのデバイスに送信します ([天気予報を表示する, 43 ページ](#))。

スマート通知: スマートフォンの通知とメッセージをデバイスに表示します。この機能を利用できない言語もあります。

ハンズフリー通話: デバイスを使用して電話をかけたり受けたりできるほか、デバイスをハンズフリースピーカーフォンとして使用できます。選択した言語が音声コマンド機能をサポートしている場合は、音声コマンドを使用して電話をかけることができます。

位置情報をデバイスに送信: スマートフォンから位置情報をナビゲーションデバイスに送信できます。

スマートフォンとペアリングする

dēzl デバイスをスマートフォンおよび dēzl アプリとペアリングし、追加の機能を有効にし、ライブ情報にアクセスすることができます (ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能, 33 ページ)。

- 1 スマートフォンのアプリストアから、dēzl アプリをインストールします。
- 2 dēzl デバイスをオンにし、デバイスとスマートフォンの距離が 3 m (10 ft.) 以内になるようにします。
- 3 スマートフォンで dēzl アプリを開きます。
- 4 画面の指示に従って Garmin アカウントにサインインし、ペアリングおよびセットアッププロセスを完了します。

メインアプリダッシュボードが表示されます。デバイスは、ペアリングされると、電源がオンになって範囲内にあるときに、自動的に接続されます。

dēzl アプリを使用して住所または場所に移動する

dēzl アプリを使用して、住所、企業、またはジャンル別施設を検索し、ナビゲーション用に dēzl デバイスに送信できます。

- 1 dēzl アプリから **目的地検索** を選択します。
- 2 次のオプションを選択します。
 - ・ 現在地の住所を検索するには、番地またはストリート名を入力します。
 - ・ 別の都市の住所を検索するには、州名、都市名、ストリート名および番地を入力します。
 - ・ 店名を検索するには、名前の一部またはすべてを入力します。
 - ・ 都市を検索するには、州名および都市名を入力します。入力すると、候補が検索フィールドの下に表示されます。

- 3 検索結果の候補から選択します。

アプリで、地図上に場所が表示されます。

- 4 ナビゲーションを開始するには、**デバイスに送信** を選択します。

dēzl デバイスが選択した場所へのナビゲーションを開始し、その場所が、目的地検索メニューの最近の検索に追加されます。

スマート通知

デバイスが dēzl アプリに接続されているときは、dēzl デバイスのスマートフォンから、テキストメッセージ、着信、カレンダーの予定などの通知を表示できます。

地図の表示中に通知を受信する

⚠ 警告

運転中は通知を読んだり、操作したりしないでください。注意が散漫となり、事故が発生して重傷または死亡につながるおそれがあります。

この機能を使用する前に、dēzl アプリを実行しているサポート対象のスマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります。

地図を表示しているとき、画面の端にある地図ツールに新しい通知が表示されます。デバイスが移動中の場合、通知を表示するには、自分が乗客であり、運転者ではないことを確認する必要があります。

- ・ 通知を無視するには、**×**を選択するか、ポップアップが終了するのを待ちます。
ポップアップが閉じますが、通知は電話でアクティブのままです。

- ・ 通知を表示するには、通知テキストを選択します。

- ・ 通知を聞くには、**▶**を選択します。

デバイスは TTS (Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。

ハンズフリー通話

注：ほとんどの携帯電話とヘッドセットは対応しており使用できますが、特定の携帯電話やヘッドセットの使用は保証できません。お使いの携帯電話では、一部の機能が利用できない場合があります。

Bluetooth 無線技術を使用すると、デバイスを携帯電話に接続し、ハンズフリーデバイスとして使用できます (スマートフォンとペアリングする, 34 ページ)。接続されている間は、デバイスで電話をかけたり受けたりすることができます。

電話をかける

- 1  > スマートフォンを選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 電話をかけるには、**ダイヤル**を選択して電話番号を入力し、**ダイヤル**を選択します。
 - ・ 最近の不在着信または最近ダイヤルした電話あるいは受信した電話の番号を表示するには、**通話履歴**を選択し、**ログ**を選択し、番号を選択し、**通話**を選択してダイヤルします。
 - ・ 電話帳にある連絡先に電話をかけるには、**電話帳**を選択し、連絡先を選択し、**通話**を選択します。
 - ・ レストランやアトラクションなどジャンル別施設に電話をかけるには、**カテゴリーを参照**を選択し、カテゴリーを選択し、場所を選択し、**通話**を選択します。

自宅に電話をかける

自宅に電話をかける前に、自宅の電話番号を入力する必要があります。

 > スマートフォン > 自宅へ電話の順に選択します。

音声ダイヤルを使用して電話をかける

- 1  > スマートフォン > 音声ダイヤルの順に選択します。
- 2 音声プロンプトを聞きます。
- 3 Call と発音し、通話先の名前、電話番号、または場所を音声入力します。

電話を受ける

電話がかかってきたときには、**回答**または**却下**を選択します。

通話中オプションを使用する

通話中オプションは、電話に出ると地図上に表示されます。一部のオプションはお使いの電話に対応していない可能性があります。

ヒント：いったん通話中オプションページを閉じた後、任意の画面からを選択することで、通話中オプションページをもう一度開くことができます。地図から > を選択することもできます。

- ・ 会議通話を設定するには、**通話の追加**を選択します。
- ・ オーディオを電話に転送するには、**ナビゲーターで通話中です**を選択します。

ヒント：この機能は、Bluetooth の接続を解除して通話を継続する場合やスピーカーでなく電話で話したい場合に使用します。
- ・ ダイヤルパッドを使用するには、**キーパッド**を選択します。

ヒント：この機能を使用して、留守番電話などの自動システムを使用できます。
- ・ マイクをミュートするには、**ミュート**を選択します。
- ・ 電話を切るには**通話終了**を選択します。

Bluetooth 機能を有効または無効にする

ペアリングしたスマートフォンの通話、メディアオーディオ、ライブサービスなどの Bluetooth 機能を有効または無効にできます。

- 1  > スマートフォンを選択します。
- 2 電話名を選択します。
- 3 有効または無効にする機能を選択します。

アプリの通知を表示または非表示にする

dēzl アプリを使用して、dēzl デバイスに表示するスマートフォン通知の種類をカスタマイズできます。

- 1 スマートフォンで dēzl アプリを開きます。
- 2  > **スマート通知**を選択します。
スマートフォンアプリのカテゴリのリストが表示されます。
- 3 カテゴリを選択して、そのタイプのアプリの通知を有効または無効にします。

Bluetooth デバイスの取り外し

ペアリングされているデバイスのリストから削除しないで、Bluetooth デバイスを一時的に取り外すことができます。Bluetooth デバイスは、今後も dēzl デバイスに自動的に接続できます。

- 1  > **スマートフォン**を選択します。
- 2 接続を解除するデバイスを選択します。
- 3 **接続解除**を選択します。

ペアリングした電話を削除する

ペアリングした電話とのペアリングを解除して、今後自動的にデバイスに接続できないようにできます。

- 1  > **スマートフォン**を選択します。
- 2 スマートフォンを選択して、**デバイスを解除**を選択します。

トラフィック

注記

Garmin は交通情報の正確性または適時性について責任を負いません。

お使いのデバイスは、この先の道路やルート上の渋滞に関する情報を提供できます。アクティブルートで大きな交通遅延状態が発生した場合は、ルートの計算時に渋滞を回避して、目的地への新しいルートを発見するようにデバイスを設定できます ([トラフィック設定, 51 ページ](#))。交通渋滞地図を使用すると、地域の交通遅延の地図を参照できます。

交通情報を提供するには、デバイスがトラフィックデータを受信する必要があります。

- すべての製品モデルで、dēzl アプリを使用してトラフィックデータを受信できます (サブスクリプション無料) ([スマートフォンを使用してトラフィックデータを受信する, 36 ページ](#))。

トラフィックデータを利用できない地域もあります。トラフィック情報を利用できる地域については、garmin.com/traffic を参照してください。

スマートフォンを使用してトラフィックデータを受信する

デバイスは、dēzl アプリを実行しているスマートフォンに接続されているときに、サブスクリプション無料のトラフィックデータを受信できます。

- 1 デバイスを dēzl アプリに接続します。
- 2 dēzl デバイスで、 > **トラフィック** > **トラフィック**の順に選択し、**Garmin Live Traffic** オプションが選択されていることを確認します。

地図上に交通渋滞情報を表示する

交通渋滞地図は、道路状況が色分けされて表示されます。

- 1 メインメニューで、 > **トラフィック**の順に選択します。
- 2 必要に応じて、 > **凡例**を選択し、交通渋滞地図の凡例を表示します。

交通事故情報を検索する

- 1 メインメニューで、 > トラフィックの順に選択します。
- 2  > 事故の順に選択します。
- 3 リストからアイテムを選択します。
- 4 事故が複数地点で発生しているときに別の事故を表示するには、矢印を使用します。

車両およびドライバーツール

休憩の計画

注記

このデバイス自体は、FMCSA (Federal Motor Carrier Safety Administration) 規則の登録証記録要件の承認された代替にはなりません。ドライバーは、連邦および州により定められたサービス時間の要件をすべて遵守する必要があります。Garmin eLog 準拠の電子ロギングデバイス (ELD) と統合すると、このデバイスにより、自動車輸送業者はサービスロギングおよび休憩要件の時間を順守できます。詳細や Garmin eLog デバイスの購入については、garmin.com/elog を参照してください。

休憩の計画機能を有効にすると、デバイスは推奨休憩時間と運転時間制限の 1 時間前に通知し、ルート上の休憩場所を提案します。この機能を使用すると、労働時間を記録できるため、安全規制を遵守するのに役立ちます。

注：車両プロファイルを使用している場合は、休憩の計画機能を使用できません。

推奨の休憩をとる

休憩の時間になると、デバイスは通知し、推奨の休憩場所 POI を表示します。

推奨の休憩場所のリストから POI を選択します。

デバイスは休憩場所をルート上の次の目的地として追加します。

休憩タイマーを開始する

車両が 30 秒間で少なくとも 8 kph (5 mph) を移動すると、休憩タイマーが自動的に開始します。タイマーはいつでも手動で開始できます。

- 1 地図から、 > 休憩プランナーを選択します。
- 2 タイマーの開始を選択します。

休憩タイマーの一時停止とリセット

休憩タイマーは、車両が 3 分以上停止すると自動的に一時停止します。タイマーは、トラックストップでの駐車や停車など、短時間の停止のために手動で一時停止できます。運転の最後には、タイマーを手動でリセットできます。

- 1 タイマーの停止を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ タイマーを一時停止するには、一時停止を選択します。
 - ・ タイマーを停止してリセットするには、リセットを選択します。

運転時間を調整する

勤務時間の記録に正確に一致するように、総運転時間を調整できます。

- 1 休憩プランナー機能を使用している間は、総運転時間を選択します。
- 2 総運転時間を入力します。
- 3 保存を選択します。

1 日の制限運転時間を調整する

1 日の制限運転時間は、地域の法的要件に対応するように調整できます。

注：この機能を利用できない地域もあります。

- 1 休憩の計画機能を使用している間は、**1 日の運転時間**を選択します。
- 2 地域での 1 日の制限運転時間を選択します。
- 3 保存を選択します。

Garmin eLog

Garmin eLog アダプターにより、自動車輸送業者はサービス時間の記録および休憩の要件を順守できます。Garmin eLog アダプターを互換性のあるモバイルデバイスとペアリングすると、dēzl デバイスにサービス時間の情報を表示できます。Garmin eLog アダプターを利用できない地域もあります。詳細情報や Garmin eLog アダプターの購入については、garmin.com/elog を参照してください。

注：車両プロファイルを使用している場合は、Garmin eLog の機能を使用できません。

dēzl デバイスで Garmin eLog の機能をセットアップする

- 1 Garmin eLog アダプターを、モバイルデバイスの Garmin eLog アプリとペアリングします ([Garmin eLog デバイスをセットアップする, 38 ページ](#))。
- 2 dēzl デバイスを、互換性のあるモバイルデバイスとペアリングします。
- 3 Garmin eLog アプリを有効にして、dēzl デバイスとペアリングします ([Garmin eLog アプリを有効にして dēzl デバイスとペアリングする, 38 ページ](#))。
- 4 必要に応じて、dēzl デバイスで Garmin eLog の接続を有効にします ([Garmin eLog デバイスで dēzl の接続を有効または無効にする, 38 ページ](#))。

Garmin eLog デバイスをセットアップする

デバイスを使用するには、Garmin eLog アダプターをセットアップして Garmin eLog アプリとペアリングする必要があります。

- 1 モバイルデバイスのアプリストアから、 Garmin eLog アプリをインストールして開きます。
- 2 モバイルデバイスで、画面の指示に従って Garmin eLog システムのセットアップと設定を行います。

注：セットアップ処理が完了するまでデバイスの機能は制限されます。

Garmin eLog アプリを有効にして dēzl デバイスとペアリングする

- 1 Garmin eLog アプリで、ドライバープロファイルにログインします。
- 2 **Settings > Pair to Nearby Garmin dēzl** の順に選択します。

Garmin eLog デバイスで dēzl の接続を有効または無効にする

- 1 dēzl デバイスで、 > スマートフォンの順に選択します。
- 2 ペアリング対象のモバイルデバイスの名前を選択します。
- 3 **Garmin eLog アダプター** チェックボックスをオンまたはオフにします。

Garmin eLog の情報を dēzl デバイスに表示する

Garmin eLog の情報を dēzl デバイスに表示する前に、設定手順を完了する必要があります ([Garmin eLog デバイスをセットアップする, 38 ページ](#))。

お使いの車両でドライブしていると、Garmin eLog の地図ツールに勤務中ステータスと総運転時間が表示されます。

フィールドを選択すると、残りの運転時間の概要が表示されます。

Garmin eLog の診断イベントや故障イベントを表示する

Garmin eLog デバイスが診断イベントや故障イベントを検出すると、デバイスの画面に通知が表示されます。

診断または故障の通知を選択すると、そのイベントに関する詳細が表示されます。

注：診断イベントや故障イベントに関する追加情報は、Garmin eLog アプリで表示できます。

IFTA

注：この機能を利用できない地域もあります。

この機能を使用する前に、トラックの車両プロファイルをアクティブにする必要があります。

燃料購入データや走行距離数など、International Fuel Tax Agreement (IFTA) ドキュメントに必要なデータを記録できます。

燃費データを入力する

- 1  > IFTA > ガソリンスタンド の順に選択します。
- 2 1 ガロンあたりの燃料価格を入力します。
- 3 使用燃料フィールドを選択します。
- 4 購入した燃料の金額を入力します。
- 5 必要に応じて、燃料タイプを選択します。
 - ・ 量をリットル単位で記録するには、ガロン > リットル > 保存を選択します。
 - ・ 量をガロン単位で記録するには、リットル > ガロン > 保存を選択します。
- 6 必要に応じて、税込みチェックボックスをオンにします。
- 7 次へを選択します。
- 8 給油したガソリンスタンドを記録するオプションを選択します。
 - ・ リストから近くのガソリンスタンドを選択します。
 - ・ テキストフィールドを選択し、ガソリンスタンド名と住所を入力します。
- 9 燃料購入者を選択します。

燃費データを編集する

- 1  > IFTA > 燃料履歴 の順に選択します。
- 2 必要に応じて、車両プロファイルを選択します。
- 3 必要に応じて、期間 (四半期) を選択します。
- 4 燃費記録を選択します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 情報を編集するには、フィールドを選択します。
 - ・ 記録を削除するには、 を選択します。

管轄機関の概要を表示およびエクスポートする

管轄機関の概要には、各四半期中に車両が運行した州または地方ごとにデータが一覧表示されます。管轄機関の概要を利用できない地域もあります。

- 1  > IFTA > 管轄機関の概要 の順に選択します。
- 2 必要に応じて、トラックを選択します。
- 3 必要に応じて、期間 (四半期) を選択します。
- 4 管轄機関の概要をエクスポートするには、 > エクスポート > OK の順に選択します。
概要は.csv ファイルにエクスポートされ、デバイスの Reports フォルダに保存されます。

トリップレポートを編集およびエクスポートする

- 1 メインメニューで  > IFTA > トリップレポートの順に選択します。
- 2 必要に応じて、トラックを選択します。
- 3 必要に応じて、期間（四半期）を選択します。
- 4 レポートを選択します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ・ レポートを削除するには、 > 削除の順に選択し、チェックボックスをオンにします。
 - ・ レポートを組み合わせるには、 > 組み合わせの順に選択し、チェックボックスをオンにします。
 - ・  > エクスポート > OK の順に選択します。レポートは.csv ファイルにエクスポートされ、デバイスの Reports フォルダに保存されます。

エクスポートされた管轄機関の概要およびトリップレポートを表示する

注記

目的がわからないファイルは削除しないでください。デバイスメモリには重要なシステムファイルが保存されています。これらのファイルを削除しないでください。

- 1 デバイスをコンピュータに接続します。
- 2 コンピュータのファイルブラウザで、デバイス内蔵ストレージを参照して、Reports フォルダを開きます。
- 3 IFTA フォルダを開きます。
- 4 .csv ファイルを開きます。

サービス履歴をログに記録する

車両がサービスまたは保守を受けるときに、日付およびオドメーターの測定値をログに記録することができます。デバイスにはサービスカテゴリーがいくつか用意されています。また、カスタムカテゴリーを追加することもできます（「サービスカテゴリーを追加する, 40 ページ」）。

- 1  > サービス履歴の順に選択します。
- 2 サービスカテゴリーを選択します。
- 3 レコードの追加を選択します。
- 4 オドメーターの測定値を入力し、次へを選択します。
- 5 コメントを入力します（省略可）。
- 6 完了を選択します。

サービスカテゴリーを追加する

- 1  > サービス履歴の順に選択します。
- 2  > カテゴリーの追加の順に選択します。
- 3 カテゴリー名を入力してから、完了を選択します。

サービスカテゴリーを削除する

サービスカテゴリーを削除すると、そのカテゴリーに含まれるサービスの記録もすべて削除されます。

- 1  > サービス履歴の順に選択します。
- 2  > カテゴリーの削除の順に選択します。
- 3 削除するサービスカテゴリーを選択します。
- 4 削除を選択します。

サービスカテゴリの名前を変更する

- 1 > サービス履歴の順に選択します。
- 2 名前を変更するカテゴリを選択します。
- 3 > カテゴリの名前変更の順に選択します。
- 4 名前を入力し、完了を選択します。

サービスの記録を削除する

- 1 > サービス履歴の順に選択します。
- 2 サービスカテゴリを選択します。
- 3 > レコードの削除の順に選択します。
- 4 削除するサービスの記録を選択します。
- 5 削除を選択します。

サービスの記録を編集する

コメント、オドメーターの測定値、およびサービスの記録日を編集できます。

- 1 > サービス履歴の順に選択します。
- 2 カテゴリを選択します。
- 3 フィールドを選択します。
- 4 新しい情報を入力して、完了を選択します。

PrePass[®]

注記

Garmin は、PrePass アプリによって提供される情報の正確性または適時性について責任を負いません。

注：この機能を使用するには、アクティブな PrePass アカウントが必要です。

PrePass アプリを使用すると、運転者はこの先の重量検査所での商用車の安全性、認証情報、重量を確認できます。dēzl デバイス(dēzl アプリ搭載)と PrePass アプリをペアリングすると、この先の重量検査所の通知を dēzl デバイスで受信できます。

注：この機能は、米国でのみ使用できます。

ロイヤルティプログラム

dēzl デバイスから、Love's Travel Stops および Pilot Flying J Travel Centers を含む米国の旅行代理店の一部から、ロイヤルティプログラムにアクセスできます。dēzl デバイスのロイヤルティプログラムアプリを使用して、報酬ポイントの残高やその他のロイヤルティプログラム情報を確認できます。ロイヤルティプログラムの機能を有効にするには、dēzl アプリでロイヤルティプログラムアカウントにサインインします。

注：この機能は、米国でのみ使用できます。

アプリケーションを使用する

デバイスのマニュアルの表示

デバイス画面では、多くの言語の完全なマニュアルを表示できます。

- 1 > 操作マニュアルの順に選択します。
マニュアルは、ソフトウェアテキスト ([システム設定, 52 ページ](#))と同じ言語で表示されます。
- 2 を選択して、マニュアル (オプション) を検索します。

トラック地図を表示する

トラック地図は、Surface Transportation Assistance Act (STAA) 推奨ルート、TruckDown (TD) 推奨ルートなどの認識されたトラックルート、非放射性有害物質 (NRHM) ルートを強調表示します。認識されたルートは、地域とデバイスにロードした地図データにより変化します。

 > **トラック地図**の順に選択します。

ルートプランナー

ルートプランナーを使用すると、ルートを作成して保存し、後でナビゲートできます。配達ルート、休暇、またはドライブの計画に便利です。保存したルートを編集すると、場所の並べ替え、おすすめアトラクションの追加、およびシェイピングポイントの追加など、さらにカスタマイズできます。

ルートプランナーを使用すると、アクティブルートを編集して保存することもできます。

ルートを計画する

ルートには多くの場所を含めることができますが、少なくとも出発地と目的地を含める必要があります。出発地とは、ルートを開始する予定の場所です。別の場所からルートのナビゲーションを開始すると、デバイスには最初に出発地にルートを設定するオプションが表示されます。往復する場合は、出発地と最終目的地を同じにすることができます。

- 1  > **ルートプランナー** > **ルートを作成**の順に選択します。
- 2 **開始ポイント選択**を選択します。
- 3 始点を指定し、**選択**を選択します。
- 4 **目的地の選択**を選択します。
- 5 目的地の場所を指定し、**選択**を選択します。
- 6 **追加**を選択して、その他の場所を追加します (オプション)。
- 7 必要な場所をすべて追加したら、次へ > の順に選択します。
- 8 名前を入力し、完了を選択します。

ルートの場所を編集および並べ替える

- 1  > **ルート**を選択します。
- 2 保存したルートを選択します。
- 3 リストを選択します。
- 4 位置を選択します。
- 5 次のオプションを選択します。
 - ・ 場所を変更するには、を選択し、新しい場所を入力します。
 - ・ 場所を上下に移動するには、を選択し、場所をルートの新しい位置にドラッグします。
 - ・ 選択した場所の後に新しい場所を追加するには、を選択します。
 - ・ 場所を削除するには、を選択します。

保存したルートまでナビゲーションする

- 1  > **ルートプランナー**の順に選択します。
- 2 保存したルートを選択します。
- 3 **出発!**を選択します。
- 4 ナビゲーション先の最初の位置を選択し、**OK**を選択します。
- 5 **開始**を選択します。

デバイスは現在地から選択した位置へのルートを計算し、残りのルート目的地に順番に案内します。

アクティブルートを編集および保存する

ルートがアクティブな場合は、ルートプランナーを使用し、ルートを編集して保存できます。

- 1  > ルートプランナー > **マイアクティブルート**の順に選択します。
- 2 いずれかのルートプランナー機能を使用して、ルートを編集します。
ルートは変更を加えるごとに再計算されます。
- 3 **保存**を選択すると、ルートが保存され、後で再びナビゲーションできます (オプション)。

前のルートと目的地を表示する

この機能を使用する前に、走行履歴機能を有効にする必要があります ([デバイス設定と製品情報](#), 52 ページ)。

前のルートと停止した場所を地図上に表示することができます。

 > **トリップ履歴**の順に選択します。

天気予報を表示する

この機能を使用するには、デバイスで天気予報データを受信している必要があります。デバイスを dēzl アプリに接続して、天気予報データを受信できます。

- 1  > **天気**を選択します。
デバイスは、現在の天気概況と今後数日間の予報を表示します。
- 2 **曜日**を選択します。
選択した曜日の詳細な天気予報が表示されます。

気象観測レーダーを表示する

この機能を使用する前に、dēzl アプリを実行しているサポート対象のスマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります ([スマートフォンとペアリングする](#), 34 ページ)。

 > **天気 > レーダー**を選択します。

風予報を表示する

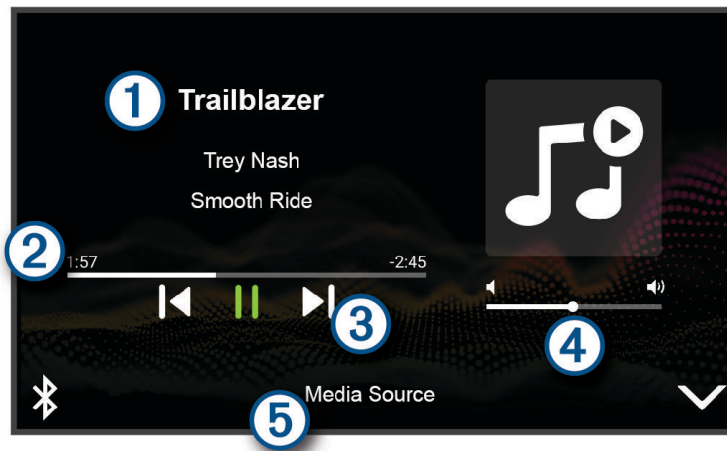
- 1  > **天気 > 風速**を選択します。
- 2 次のオプションを選択します。
 - ・ お住まいの地域の平均風速予測の地図を表示するには、**風速**を選択します。
 - ・ お住まいの地域の最強風速予測の地図を表示するには、**突風**を選択します。

別の都市周辺の天気を表示する

- 1  > **天気 > **を選択します。
- 2 次のオプションを選択します。
 - ・ お気に入りの都市の天気を表示するには、リストの都市を選択します。
 - ・ お気に入りの都市を追加するには、**都市の追加**を選択し、都市名を入力します。

ミュージックプレイヤー

ミュージックプレイヤーを使用すると、ペアリングしたスマートフォンのメディアアプリから、現在再生している音楽をデバイスで制御できます。メディアプレイヤーは、メインメニューから音楽を選択していつでも開くことができます。



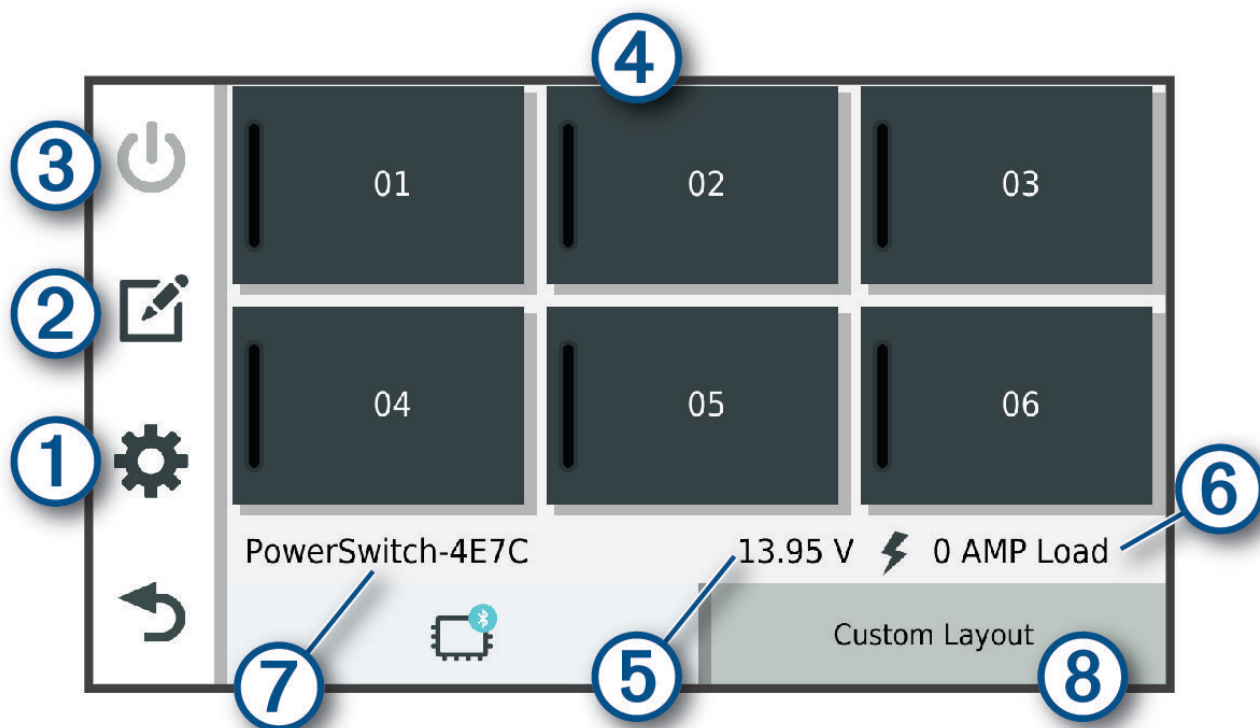
- | | |
|---|--|
| ① | タイトル、アーティスト、アルバム、ステーション、チャンネルなどの現在再生中のメディアの情報。 |
| ② | 現在のメディアアイテムを処理します。 |
| ③ | 再生コントロール。コントロールは、メディアを提供するソースに基づいて変わります。 |
| ④ | 音量の調節。スライダーで音量を調整できます。 |
| ⑤ | 接続されているメディアソースの名前です。 |

マップにミュージックプレイヤーツールを追加する

ミュージックプレイヤーマップツールを使用すると、マップからミュージックプレイヤーをコントロールできます。

- 1 マップを開きます。
- 2  > ミュージックの順に選択します。
マップにミュージックプレイヤーのコントロールが表示されます。

Garmin PowerSwitch™アプリ



① 	アプリ設定メニューを開きます
② 	編集モードを開始して、アプリのレイアウトと機能をカスタマイズします
③ 	すべての出力をオフにします
④ 電源ボタン	接続された各出力を有効にします
⑤	入力電圧を表示します
⑥	選択した Garmin PowerSwitch デバイスの合計アンペア数を表示します
⑦	デバイス名を表示します
⑧	Garmin PowerSwitch デバイスタブとカスタムレイアウトタブを表示します

電源スイッチの有効化

Garmin PowerSwitch アプリを使用してスイッチを有効にする前に、Garmin PowerSwitch デバイスを車両に取り付けて、Garmin PowerSwitch アプリとペアリングする必要があります。

Garmin PowerSwitch アプリから電源ボタンを選択し、スイッチのオン / オフを切り替えます。

すべてのスイッチをオフにする

を選択します。

ボタンのカスタマイズ

- 1 Garmin PowerSwitch アプリ画面から、を選択します。
アプリケーションが編集モードになります。
- 2 カスタマイズするボタンで、を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ ボタンの名前を変更するには、**ボタンラベルフィールド**を選択し、名前を入力します。
 - ・ ボタンにアイコンを追加するには、**アイコンフィールド**を選択し、アイコンを選択します。
 - ・ ボタンの色を変更するには、色を選択します。
 - ・ ボタンモードを変更するには、ボタンモードを選択します。
 - ・ スイッチの輝度を調整するには、スライダーを使用します。
 - ・ 制御入力で有効にするボタンを設定するには、制御入力を選択します。
- 4 を選択します。
- 5 完了を選択します。

スイッチを制御入力へ割り当てる

制御入力機能を使用する前に、制御入力を Garmin PowerSwitch デバイ스에 接続する必要があります。

Garmin PowerSwitch デバイスが制御入力から信号を受信したときにオンにするスイッチを 1 つ以上割り当てることができます。

- 1 を選択します。
- 2 ご使用の Garmin PowerSwitch デバイスを選択します。
- 3 制御入力を選択します。
- 4 1 つ以上のスイッチを選択します。

カスタムレイアウトの追加

Garmin PowerSwitch アプリにカスタムレイアウトタブを追加できます。カスタムレイアウトに追加したボタンは、同時に複数のスイッチを制御できます。

- 1 Garmin PowerSwitch アプリから、を選択します。
デバイスが編集モードになります。
- 2 を選択します。

カスタムレイアウトへボタンを追加する

- 1 Garmin PowerSwitch アプリで、カスタムレイアウトタブを選択します。
- 2  を選択します。
アプリケーションが編集モードになります。
- 3 **ボタン追加**を選択します。
- 4 新しいボタンで、 を選択します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ・ ボタンの名前を変更するには、**ボタンラベルフィールド**を選択し、名前を入力します。
 - ・ ボタンにアイコンを追加するには、**アイコンフィールド**を選択し、アイコンを選択します。
 - ・ ボタンの色を変更するには、色を選択します。
- 6 **アクションを追加**を選択します。
- 7 必要に応じて、Garmin PowerSwitch デバイスとスイッチを選択します。
- 8 以下のようにして、アクションを選択します。
 - ・ ボタンを押すたびにスイッチのオン / オフを切り替えるように設定するには、**切り替え**を選択します。
 - ・ スイッチをオンにするようボタンを設定するには、**オンにする**を選択します。
 - ・ スイッチをオフにするようボタンを設定するには、**オフにする**を選択します。
- 9 ボタンモードを選択します。
 - ・ ワンタッチで有効にするようボタンを設定するには、**標準**を選択します。
 - ・ ボタンにタッチしている間のみ有効にするようボタンを設定するには、**モーメンタリ**を選択します。
 - ・ ボタンを繰り返しオン / オフするように設定するには、**ストロボ**を選択し、時間間隔を選択します。
- 10 必要に応じて、スライダーを使用して照明の明るさを設定します。
- 11  を選択します。
- 12 必要に応じて、**アクションを追加**を選択して、ボタンのアクションを追加します。
Garmin PowerSwitch デバイスのスイッチごとに 1 つのアクションを追加できます。

カスタムレイアウトでのボタンの配置

- 1 Garmin PowerSwitch アプリで、カスタムレイアウトタブを選択します。
- 2  を選択します。
アプリケーションが編集モードになります。
- 3 移動するボタンで  を押したまま、ボタンを新しい場所にドラッグします。

カスタムレイアウトまたはボタンの削除

- 1 Garmin PowerSwitch アプリで、カスタムレイアウトタブを選択します。
- 2  を選択します。
アプリケーションが編集モードになります。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ ボタンを削除するには、削除するボタンの  を選択します。
 - ・ レイアウトタブを削除するには、レイアウトタブの  を選択します。

ルーチン

ルーチンは Garmin PowerSwitch デバイスを自動化します。互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスでルーチンを定義している場合、ルーチンの条件が満たされると、ルーチンのオン / オフが自動的に切り替わります。たとえば、毎日特定の時間になったとき、または車両が特定の速度に達したときにスイッチをオンにするルーチンを設定できます。ルーチンは、互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスを使用している場合のみ使用できます。

ルーチンの追加

- 1 Garmin PowerSwitch アプリで、 > ルーチンの順に選択します。
- 2 必要に応じて、**ルーチンを追加**を選択します。
- 3 **タイミング**を選択します。
- 4 トリガーを選択します。
 - ・ 車両が特定の速度に達したときにトリガーするスイッチを設定するには、**速度** > 次への順に選択し、画面に表示される指示に従って速度しきい値を入力します。
 - ・ 毎日特定の時刻にトリガーするようにスイッチを設定するには、**時間** > 次への順に選択し、時刻を入力します。
 - ・ 日の出にトリガーするようにスイッチを設定するには、**日の出時刻**を選択します。
 - ・ 日の入りにトリガーするようにスイッチを設定するには、**日の入時刻**を選択します。
- 5 **アクションを追加**を選択します。
- 6 デバイス、スイッチ、アクション、およびボタンモードを選択します。
- 7 必要に応じて、スライダーを使用して調光器を調整します。
- 8 **保存**を選択します。

ルーチンの編集

- 1 Garmin PowerSwitch アプリで、 > ルーチンの順に選択します。
- 2 編集するルーチンのを選択します。
- 3 次のの中からオプションを選択します。
 - ・ ルーチンのトリガーを変更するには、**タイミング**を選択し、トリガーを選択します。
 - ・ アクションを変更するには、変更するアクションのを選択し、アクションを更新します。
 - ・ ルーチンにアクションを追加するには、**アクションを追加**を選択し、アクションに関する情報を入力します。
- 4 **保存**を選択します。

ルーチンの削除

- 1 Garmin PowerSwitch アプリで、 > ルーチンの順に選択します。
- 2 削除するルーチンでを選択します。

音声コマンド

注：すべての言語や地域で音声コマンドが使用できるわけではありません。また、音声コマンドを利用できないモデルもあります。

注：周囲の音が大きい場合、音声認識ナビが望ましい性能を発揮できない可能性があります。

音声コマンドを使って、単語やコマンドを読み上げてデバイスを使用することができます。[音声コマンド]メニューには、音声プロンプトや利用可能なコマンドのリストが表示されます。

デバイスに話しかける際のヒント

- ・ デバイスで指定されるはっきりした音声で発音します。
- ・ OK, Garmin で各リクエストを開始します。
- ・ 音声やラジオなどの背景雑音を軽減して、デバイスがコマンドをより正確に解釈できるようにします。
- ・ 必要に応じて、デバイスからの音声案内に応答します。
- ・ 有益な応答が得られない場合は、リクエストを言い換えてみてください。
- ・ デバイスが要求に応答しない場合は、デバイスがスピーカーや通気口の近くに置かれていないかを確認してください。そのような場合、ノイズが発生してマイクに干渉していることがあります。

Garmin 音声案内ナビゲーションの起動

Garmin 音声案内ナビゲーションを使用すると、わかりやすい言語の音声要求を使用して、場所や住所を検索したり、針路方向を詳細に指示したり、ハンズフリー通話を発信したりできます。

- OK, Garmin と話しかけ、音声で要求します。
たとえば、次のようなフレーズを言うことができます。
 - OK, Garmin, take me home.
 - OK, Garmin, where's the library?

到着時刻の確認

ルートがアクティブな間に、フレーズを発音すると目的地への到着予定時刻を確認できます。

OK, Garmin, what time will we arrive? と話しかけます。

音声を使用して電話をかける

音声コマンドを使用して、ペアリングしたスマートフォンの電話帳から連絡先に電話をかけることができます。

OK, Garmin, call と話しかけて、連絡先名を言ってください。

例えば、OK, Garmin, call Mom. と言います。

音声を使用してデバイス設定を変更

次のようなフレーズを発音して、音量を 0~10 の値に設定できます。

- OK, Garmin, increase the volume.
- OK, Garmin, set the volume to 0.
- OK, Garmin, set the volume to 9.
- OK, Garmin, decrease the brightness.
- OK, Garmin, set the brightness to 5.

設定

電話設定

 > スマートフォンを選択し、自分のスマートフォンを選択します。

接続解除: ペアリングされたスマートフォンを切断します。

スマートフォン名: ペアリングされたスマートフォンの名前が表示されます。名前を選択して、ナビゲーションデバイスでの表示方法を変更できます。

通話: ナビゲーションデバイスで、ペアリングしたスマートフォンでの通話を制御できるようにします。

Garmin dēzl: ナビゲーションデバイスが、スマートフォンの dēzl アプリに接続されているときに表示されます。

Garmin eLog アダプター: ペアリングされた Garmin eLog アダプターのステータスを表示します。この設定を利用できない地域もあります。

デバイスを解除: ペアリングされたデバイスのリストから、接続されているデバイスを削除します。このオプションは、デバイスがペアリングされた後にのみ使用できます。

Wi-Fi 設定

ワイヤレスネットワークの設定では、Wi-Fi ネットワークを管理できます。

 > Wi-Fi の順に選択します。

Wi-Fi: Wi-Fi 無線を有効にします。

保存済みネットワーク: 保存済みネットワークを編集または削除できます。

ネットワークを検索: 近くの Wi-Fi ネットワークを検索します ([ワイヤレスネットワークに接続する](#), 50 ページ)。

ワイヤレスネットワークに接続する

デバイスの電源を初めてオンにすると、Wi-Fi ネットワークに接続してデバイスを登録するように求められます。設定メニューを使用して、Wi-Fi ネットワークに接続することもできます。

- 1  > **Wi-Fi** を選択します。
- 2 必要に応じて、**Wi-Fi** を選択して Wi-Fi 技術を有効にします。
- 3 **ネットワークを検索**を選択します。
デバイスで、近くの Wi-Fi ネットワークのリストが表示されます。
- 4 ワイヤレスネットワークを選択します。
- 5 必要に応じて、ネットワークのパスワードを入力し、完了を選択します。

デバイスがワイヤレスネットワークに接続されます。デバイスがネットワーク情報を記憶し、この場所に戻ったときに、自動的に接続します。

地図および車両設定

 > **地図**を選択します。

車両: 地図上で自分の位置を示す車両アイコンを設定します。

運転地図表示: 地図の表示方法を設定します。

詳細度: 地図の詳細度を設定します。詳細度が高いほど、地図の描画に時間がかかることがあります。

地図レイヤー: 地図ページに表示するデータを設定します ([地図レイヤーをカスタマイズする, 33 ページ](#))。

ウェイポイントラベル: 地図上のウェイポイントラベルのサイズを設定します。

ウェイポイントの整理: 地図が高倍率のときにウェイポイントのアイコンを非表示にします。

自動ズーム: 地図の使用に最適なズームレベルが自動的に選択されます。無効にすると、ズームインまたはズームアウトを手動で行う必要があります。

マイマップ: デバイスで使用されるインストール済み地図を設定します。

地図を有効にする

デバイスにインストールされている地図製品を有効にすることができます。

ヒント: 追加の地図製品を購入するには、garmin.com/maps にアクセスしてください。

- 1  > **地図** > **マイマップ**の順に選択します。
- 2 地図を選択します。

ナビゲーション設定

 > **ナビゲーション**の順に選択します。

計算モード: ルート計算方法を設定します。

回避: ルート上で回避する道路の特徴を設定します。

カスタム回避: 特定の道路や地域を回避することができます。

トラフィック: トラフィック機能のオプションを設定します。

環境ゾーン: お使いの車両に適用される可能性がある環境または排出制限のある地域に回避の環境設定を行います。

制限モード: 運転中に注意散漫になって事故を招く恐れのあるすべてのデバイス機能が無効になります。

GPS シミュレーター: デバイスによる GPS 信号の受信を停止し、バッテリーを節約します。

トラフィック設定

メインメニューで、**⚙️ > ナビゲーション > トラフィック**の順に選択します。

トラフィック: トラフィック機能を有効にします。

現在のプロバイダ: トラフィックデータに使用するプロバイダを設定します。自動オプションでは、利用可能な最適なトラフィックデータが自動的に選択されます。

サブスクリプション: 現在のトラフィックサブスクリプションをリスト表示します。

最適なルート: 最適な代替ルートを自動的に、または要求に応じて使用できるようにします ([ルート上の交通遅延を回避する, 26 ページ](#))。

運転者支援の設定

⚙️ > 安全運転支援の順に選択します。

ドライバーアラート: この先のゾーンや道路状況に関するアラートの有効 / 無効を切り替えることができます ([ドライバーへの注意喚起の機能とアラート, 12 ページ](#))。

スピード超過アラート: 制限速度を超えている場合には、警告を発します。

速度低下トーン: 制限速度が低下すると警告します。

国境アラート: 国境を越えるときに通知を表示します。

ルートのプレビュー: ナビゲーションを開始すると、ルート上の幹線道路のプレビューを表示します。

休憩プラン: 長時間運転すると、休憩を促したり、次のサービスを表示します。休憩の通知とこの先のサービスエリアの表示は、有効 / 無効を切り替えることができます。

スピードカメラ: スピードカメラや赤信号カメラに近づいたときに警告します。

到着計画: ルートの終点に目的地の地図を表示します。また、ペアリングしたスマートフォンのモバイルデータを使用して、デバイスで衛星画像をダウンロードできるようにすることもできます。

前方衝突警告: 前方衝突警告を有効にして感度を設定できます。感度を高くすると、感度が低い場合よりもアラートが早くなります。

車線逸脱警告: デバイスには、意図せず車線を越えた可能性があることを検出すると、警告を発する機能があります。

ダッシュカメラの設定

⚙️ > カメラを選択します。

取り付け位置: 車両の高さとカメラ位置の設定を許可し、ダッシュカメラの位置合わせをします。

起動時に録画: デバイスをオンにしたときにダッシュカメラでビデオの録画を自動的に開始できるようにします。

ビデオ解像度: ダッシュカメラ録画の解像度と画質を設定します。

事故検出: 事故検出機能の感度を設定します。運転中の事故を検知すると、デバイスが自動的にビデオを保存します。

録音する: ダッシュカメラを使って録画する場合の音声録音を有効または無効にします。

タイムスタンプ設定: 録画されたビデオに日付、時刻、位置、速度の情報を含めます。

録画ファイル: デバイスが未保存のビデオ映像を削除するタイミングを決定します。ストレージがいっぱいになったら削除オプションを選択すると、メモリーカードのストレージがいっぱいになると、最も古い未保存のビデオが削除されます。直ちに削除オプションを選択すると、デバイスは 3 分超経過した未保存のビデオを継続的に削除し、電源を切るたびに未保存のビデオをすべて削除されます。これはデータのプライバシー保護に役立ちます。直ちに削除オプションを選択している間は、未保存のビデオをギャラリーに表示することはできません。

ワイヤレスカメラ設定

ワイヤレスカメラ設定では、ペアリングされた Garmin ワイヤレスカメラとカメラ設定を管理できます。このメニューの設定は、ワイヤレスカメラが *dēzl* デバイ스에 接続されている場合のみ表示されます。ワイヤレスカメラと *dēzl* デバイスとのペアリングの詳細については、ワイヤレスカメラのマニュアルを参照してください。

ディスプレイ設定

⚙️ > ディスプレイの順に選択します。

方向: ディスプレイをポートレート (縦) またはランドスケープ (横) に設定します。

注: この機能を利用できない製品モデルもあります。

デザイン: 昼または夜のカラーモードを選択できます。自動オプションを選択すると、時刻により昼または夜のカラーが自動的に切り替わります。

輝度: ディスプレイの輝度を調節できます。

ディスプレイ省電力モード: バッテリー電源の使用時にデバイスがスリープモードに移行するまでのアイドル時間を設定できます。

スクリーンショット: デバイス画面の画像を撮影できます。スクリーンショットは、デバイスの Screenshot フォルダに保存されます。

システム設定

⚙️ > システムの順に選択します。

音声言語: 音声案内の言語を変更します。

テキスト言語: 画面に表示されるすべてのテキストを、選択された言語に変更します。

注: テキスト言語を変更しても、ユーザー入力データまたは通り名などの地図データの言語は変更されません。

キーボード言語: キーボード言語を有効にします。

単位: 距離の測定に使用する単位を設定します。

現在の時刻: デバイスの時間を設定します。

時刻表示形式: 表示時間に 12 時間、24 時間、または UTC を選択できます。

位置フォーマット: 地理座標に使用する座標形式とデータを設定します。

デバイス設定と製品情報

⚙️ > デバイスを選択します。

バージョン情報: ハードウェアおよびソフトウェアバージョン情報を表示します。

規制情報: E ラベルの規制および規制準拠に関する情報を表示します。

EULA: エンドユーザー使用許諾契約 (EULA) およびソフトウェアライセンス情報を表示できます。

ソフトウェアライセンス: ソフトウェアライセンス情報を表示します。

デバイスデータの報告: データを共有してデバイスの機能を向上させる

走行履歴: 目的地の記録をデバイスに保存できます。これにより、軌跡ログを表示したり、その他の軌跡履歴機能を使用したりできます。

リセット: 走行履歴の消去、設定のリセット、またはすべてのユーザーデータの削除を実行できます。

データと設定をリセットする

ユーザーデータを削除して、すべての設定を工場出荷時の初期設定値にリセットするには、複数の方法があります。

- 1  > デバイス > リセットを選択します。
- 2 次のオプションを選択します。
 - ・ 走行履歴を消去するには、**走行履歴の消去**を選択します。
このオプションを選択すると、これまでに走行した場所の全記録が削除されます。保存した位置情報やインストール済みの地図は削除されません。
 - ・ すべての設定を工場出荷時の初期設定値にリセットするには、**設定リセット**を選択します。
このオプションを選択してもユーザーデータは削除されません。
 - ・ すべてのユーザーデータを削除して、すべての設定を工場出荷時の初期設定値にリセットするには、**データ削除と設定リセット**を選択します。
このオプションを選択すると、保存した位置情報、最近検索した場所、走行履歴など、すべてのユーザーデータが削除されます。インストール済みの地図は削除されません。

設定を初期化する

設定のカテゴリまたはすべての設定を工場出荷時の初期設定値に戻すことができます。

- 1  を選択します。
- 2 必要に応じて、設定のカテゴリを選択します。
- 3  > リセットの順に選択します。

デバイス情報

E ラベルの規制およびコンプライアンス情報の表示

- 1 設定メニューから、メニューの下部にスワイプします。
- 2 デバイス > 規制情報を選択します。

仕様

動作温度範囲	-20°C ~ 55°C (-4°F ~ 131°F)
充電温度範囲	0°C ~ 45°C (-32°F ~ 113°F)
電源入力	付属の車両用電源ケーブルを使用した電源供給別売アクセサリを使用して AC 電源から電源供給 (家庭やオフィスでの使用時限定)
バッテリータイプ	充電式リチウムイオン

デバイスを充電する

注：このクラス III 製品は LPS 電源により電源が供給されます。

以下のいずれかの方法で、デバイスのバッテリーを充電することができます。

- ・ デバイスをマウントに取り付けて、マウントを車両電源に接続します。
- ・ コンセント電源アダプターなどのオプション電源アダプターアクセサリにデバイスを接続します。
家庭用またはオフィス用に適した、承認済みの GarminAC-DC アダプターを Garmin 販売店または www.garmin.com から購入できます。デバイスがサードパーティ製アダプタに接続されている場合、デバイスの充電に時間がかかる場合があります。

デバイスのメンテナンス

Garmin サポートセンター

製品マニュアル、よく寄せられる質問 (FAQ)、ビデオ、カスタマーサポートなどのヘルプや情報については、support.garmin.com を参照してください。

Wi-Fi ネットワークの使用による地図とソフトウェアの更新

注記

地図やソフトウェアの更新では、デバイスで大きなファイルをダウンロードする必要がある場合があります。通常のデータ制限や料金がインターネットサービスプロバイダから適用されます。データ制限や料金の詳細については、インターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

インターネットへのアクセスを提供する Wi-Fi ネットワークにデバイスを接続することで、地図やソフトウェアを更新できます。これにより、デバイスをコンピュータに接続しないで最新の状態に保つことができます。

1 デバイスを Wi-Fi ネットワークに接続します (ワイヤレスネットワークに接続する, 50 ページ)。

Wi-Fi ネットワークに接続中に、デバイスは利用可能な更新がないかチェックします。更新を利用できる場合、 がメインメニューの  アイコンに表示されます。

2 > 更新 を選択します。

デバイスは利用可能な更新がないかチェックします。更新が利用可能な場合は、**更新が利用可能ですが地図またはソフトウェアの下に表示されます。**

3 次の中からオプションを選択します。

- ・ 利用可能なすべての更新をインストールするには、**すべてインストール**を選択します。
- ・ 地図の更新のみをインストールするには、**地図 > すべてインストール**の順に選択します。
- ・ ソフトウェアの更新のみをインストールするには、**ソフトウェア > すべてインストール**の順に選択します。

4 使用許諾契約を読み、**同意**を選択して使用許諾契約に同意します。

注： 使用許諾契約に同意しない場合、拒否を選択できます。これにより、更新処理は停止します。使用許諾契約に同意するまで更新をインストールすることはできません。

5 付属の USB ケーブルを使用し、デバイスの外部電源に接続して**継続 (デバイスを充電する, 53 ページ)**。

最良の結果を得るには、出力が 2 A 以上の USB 充電器をお勧めします。スマートフォン、タブレット、またはポータブルメディアデバイス用の多くの USB 電源アダプタと互換性があります。

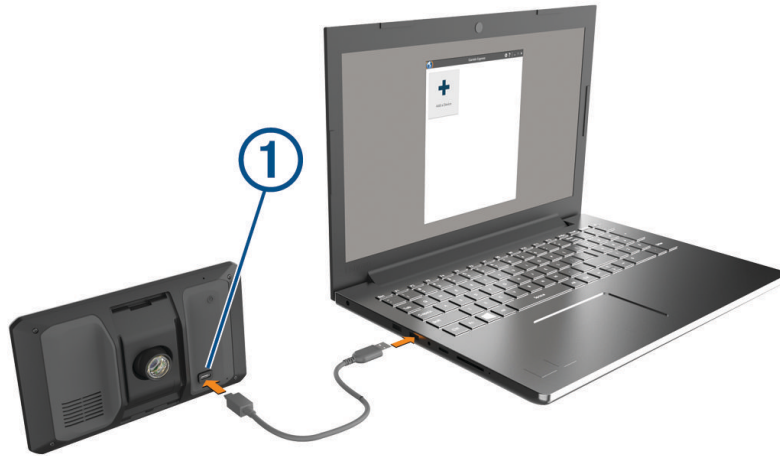
6 更新処理が完了するまで、デバイスを外部電源に接続したままにして Wi-Fi ネットワークの範囲内に維持します。

ヒント： 地図の更新が中断したり、完了する前にキャンセルされたりした場合、デバイスの地図データが失われることがあります。失われた地図データを修復するには、Wi-Fi または Garmin Express を使用して地図をもう一度更新する必要があります。

Garmin Express による地図とソフトウェアの更新

Garmin Express アプリケーションを使用して、お使いのデバイスに対応した最新の地図やソフトウェア更新をダウンロードしてインストールできます。

- 1 コンピュータに Garmin Express アプリケーションがインストールされていない場合は、garmin.com/express にアクセスし、画面に表示される指示に従ってインストールします (Garmin Express をインストールする, 56 ページ)。
- 2  Garmin Express アプリケーションを開きます。
- 3 USB ケーブルを使用して、デバイスをコンピュータに接続します。
ケーブルの小さい方の端は dēzl デバイスの USB ポート ① に接続し、大きい方の端はコンピュータで利用できる USB ポートに接続します。



- 4 dēzl デバイスでタップしてコンピュータに接続しますを選択します。
- 5 Garmin Express アプリケーションで、デバイスの追加をクリックします。
Garmin Express アプリケーションはデバイスを検索し、デバイス名とシリアル番号を表示します。
- 6 デバイスの追加をクリックし、画面に表示される指示に従って、ご使用のデバイスを Garmin Express アプリケーションに追加します。
セットアップが完了すると、Garmin Express アプリケーションにデバイスで利用できる更新が表示されます。

更新を利用できます

前回の確認：たった今 

推定インストール時間：1時間-18分

[詳細の表示](#)

すべてインストール

7 次の中からオプションを選択します。

- ・ 利用可能なすべての更新をインストールするには、**すべてインストール**をクリックします。
- ・ 特定の更新をインストールするには、**詳細の表示**をクリックし、必要な更新の横にある**インストール**をクリックします。

Garmin Express アプリケーションがデバイスに更新をダウンロードしてインストールします。地図の更新は非常に大きく、インターネットの接続速度が遅い場合、この処理には長時間かかる場合があります。

注： 地図の更新がデバイスの内部ストレージに対して大きすぎる場合は、ソフトウェアで、microSD デバイスにカードを挿入してストレージ領域を追加するように求めるメッセージが表示される場合があります ([地図およびデータ用のメモリーカードを挿入する](#), 66 ページ)。

8 更新処理中は画面上の指示に従って、更新のインストールを完了します。

たとえば、更新処理中、Garmin Express アプリケーションからデバイスを切断して再接続するように指示される場合があります。

Garmin Express をインストールする

Garmin Express アプリケーションは Windows® および Mac® コンピュータで利用できます。

1 コンピュータから garmin.com/express にアクセスします。

2 次の中からオプションを選択します。

- ・ システム要件を表示し、Garmin Express アプリケーションがコンピュータと互換性があることを確認するには、**システム要件**を選択します。
- ・ Windows コンピュータにインストールするには、**ダウンロード (Windows)**を選択します。
- ・ Mac コンピュータにインストールするには、**ダウンロード (Mac)**を選択します。

3 ダウンロードファイルを開き、画面に表示される指示に従って、インストールを完了してください。

デバイスを充電する

注： このクラス III 製品は LPS 電源により電源が供給されます。

以下のいずれかの方法で、デバイスのバッテリーを充電することができます。

- ・ デバイスをマウントに取り付けて、マウントを車両電源に接続します。
- ・ コンセント電源アダプターなどのオプション電源アダプターアクセサリにデバイスを接続します。
家庭用またはオフィス用に適した、承認済みの Garmin AC-DC アダプターを Garmin 販売店または www.garmin.com から購入できます。デバイスがサードパーティ製アダプタに接続されている場合、デバイスの充電に時間がかかる場合があります。

デバイスのお手入れ

注記

装置を落とさないようにしてください。

長時間高温に晒されるような場所に装置を保管しないでください。破損する可能性があります。

タッチスクリーンの操作に硬いものやとがったものは絶対に使用しないでください。スクリーンを傷つける恐れがあります。

デバイスを水に濡らさないでください。

外側ケースのクリーニング

注記

化学洗剤や溶媒は使用しないでください。プラスチック部品が損傷する可能性があります。

- 1 低刺激性の洗浄液で湿らせた布で、デバイスの外側ケース (タッチスクリーン以外) を拭きます。
- 2 デバイスの湿気を拭き取ります。

USB ポートの清掃

- 1 デバイスの電源をオフにして、デバイスを電源から取り外します。
- 2 柔らかい清潔な糸くずの出ない布または綿棒を使用して、USB ポートを清掃します。
注：必要に応じて、布や綿棒をイソプロピルアルコールで軽く湿らせてもかまいません。
- 3 デバイスを完全に乾かしてから、電源に接続してください。

タッチスクリーンのクリーニング

- 1 柔らかく、清潔で糸くずの出ない布を使用します。
- 2 必要に応じて、布を軽く湿らせます。
- 3 湿らせた布を使用する場合は、デバイスの電源をオフにして、デバイスを電源から切り離します。
- 4 力を入れずに画面を布で拭きます。

デバイスをリセットする

デバイスが動作を停止した場合は、リセットできます。
電源キーを 12 秒間押し続けます。

デバイス、マウント、吸着カップを取り外す

吸着カップからマウントを取り外す

- 1 マグネット式マウントを吸着カップボールに固定しているナットを緩めます。
- 2 デバイスのマウントを右または左に回転させます。
- 3 マウントのソケットから吸着カップのボールが外れるまで力を掛けます。

フロントガラスから吸着カップを取り外す

- 1 吸着カップのレバーを自分の方に倒します。
- 2 吸着カップのつまみを自分の方に引きます。

トラブルシューティング

録画したビデオがぼやけている

- ・ カメラレンズをクリーニングします。
- ・ カメラの前にあるフロントガラスをクリーニングします。
- ・ カメラの前にあるフロントガラスの領域がフロントガラスのワイパーできれいになることを確認し、必要に応じてデバイスを移動します。

メモリーカードが劣化して、交換する必要がある

すべての microSD メモリーカードは、上書きが何度も繰り返されると損耗します。カードを定期的にフォーマットすると、耐用年数が延び、パフォーマンスが向上します。ダッシュカメラは継続的に録画するため、メモリーカードを定期的に交換する必要があります。お使いのデバイスはメモリーカードのエラーを自動的に検出し、メモリーカードをフォーマットまたは交換する時期になると警告を出します。

メモリーカードの耐用期間を延ばすには、以下の対応を実施できます。

- メモリーカードは 6 か月に 1 回以上フォーマットしてください。
- デバイスにメモリーカードエラーアラートが表示された場合は、まずメモリーカードをフォーマットしてから、必要に応じてメモリーカードを交換します。
- 車両を使っていないときは、デバイスの電源をオフにします。
デバイスがイグニッション連動の車両電源コンセントに接続されていない場合は、ダッシュカメラが不要な映像を録画しないように、車両を使っていないときはデバイスの電源をオフにしてください。
- 大容量のメモリーカードを使用してください。
大容量のメモリーカードはあまり頻繁に上書きされないため、通常は長持ちします。
- 速度レーティングクラス 10 以上の高品質のメモリーカードを使用します。
- 交換用のメモリーカードは、高品質のメーカーや評判の良い販売店から購入してください。

録画したビデオが途切れる / 不完全

- カメラおよびビデオの最適な撮影結果が得られるように、速度レーティングクラス 10 以上の高品質のメモリーカードを使用します。garmin.com/dashcamcards にアクセスして、推奨メモリーカードのリストを表示します。
低速のメモリーカードではビデオの録画速度に追い付かない場合があります。
- カメラへのワイヤレス接続を使用してスマートフォンでビデオを表示している場合は、ワイヤレス干渉が少ない別の場所でビデオを表示するか、ビデオをスマートフォンに転送してみてください。
- 重要な記録をコンピュータまたはスマートフォンに転送し、メモリーカードをフォーマットします。
- デバイスにメモリーカードエラーアラートが表示された場合は、まずメモリーカードをフォーマットしてから、必要に応じてメモリーカードを交換します。
- デバイスを最新のソフトウェアに更新します ([Wi-Fi ネットワークの使用による地図とソフトウェアの更新, 54 ページ](#))。

吸盤がフロントガラスに取り付けられない

- 吸盤とフロントガラスを消毒用アルコールで拭き取ります。
- 乾燥した清潔な布で乾かします。
- 吸盤を取り付けます ([取り付けに関する注意事項, 2 ページ](#))。

デバイスで衛星信号を受信できない

- GPS シミュレーターの電源がオフになっていることを確認します ([ナビゲーション設定, 50 ページ](#))。
- 駐車場からデバイスを持ち出して、高層ビルや樹木から離れた場所へ移動してください。
- 数分間静止したままにします。

デバイスを車両で充電できない

- 車両のイグニッションがオンになっており、電源コンセントに電気が流れていることを確認します。
- 車内温度が仕様で指定されている充電温度範囲内であることを確認します。
- 車両のヒューズボックスで、車両の電源コンセントのヒューズが切れていないことを確認します。

充電しても電池の電力が長持ちしない

- 画面の輝度を下げます (ディスプレイ設定, 52 ページ)。
- ディスプレイのタイムアウトを短くします (ディスプレイ設定, 52 ページ)。
- 音量を下げます (音量を調整する, 7 ページ)。
- 使用しないときは、Wi-Fi 無線をオフにします (ワイヤレスネットワークに接続する, 50 ページ)。
- 使用しないときは、デバイスを省電力モードにします (デバイスの電源をオンまたはオフにする, 4 ページ)。
- デバイスを高温になる場所に保管しないでください。
- デバイスは直射日光の当たるところに放置しないでください。

デバイスがスマートフォンに接続されません

-  > スマートフォンを選択し、スマートフォンがナビゲーターとペアリングされていることを確認します。
- スマートフォンで Bluetooth 無線の設定を有効にし、デバイスから 10 m (33 ft.) 以内の範囲にスマートフォンを移動します。
- お使いのスマートフォンが対応していることを確認します。
詳細については、www.garmin.com/bluetooth を参照してください。
- ペアリングプロセスを再度完了します。
ペアリングプロセスを繰り返すには、スマートフォンとデバイスのペアリングを解除して (ペアリングした電話を削除する, 36 ページ)、ペアリングプロセスを完了する必要があります。

付録

GPS 信号ステータスを表示する

 を 3 秒間押し続けます。

Garmin PowerSwitch

警告

Garmin 装置の設置は、電気機器に関する適切な知識を持った、経験豊富な技術者が行うことを強くお勧めします。電源ケーブルの配線を誤ると、車両やバッテリーを破損し、怪我の原因になる可能性があります。

接続された Garmin PowerSwitch デバイスを使用すると、dēzl デバイスから照明、ファンなどを制御できます。

取り付けに関する注意事項

- デバイスは、バッテリーの近くでかつ付属の電源ケーブルの範囲内に取り付ける必要があります。
- 取り付け面は、デバイスの重量を支えるのに十分な強度が必要です。
- 取り付ける場所には、すべてのケーブルの配線と接続のために十分な空間が必要です。

デバイスの取り付け

デバイスを取り付ける前に取り付け位置を選択し、取り付け面に適したハードウェアを購入する必要があります。

注記

車両にパイロット穴を開け、マウントを取り付けるときには、ワイヤ、計器、エアバッグ、エアバッグカバー、HVACなどは避けてください。Garminは、取り付けによって生じた損害や結果については一切責任を負いません。

- 1 選択した場所にマウントを配置します。



- 2 マウントをテンプレートとして使用し、2箇所ネジ位置①に印を付けます。
- 3 パイロットホールを開けます (オプション)。
一部のタイプの取り付け材質では、パイロットホールをドリルで開ける必要があります。マウント越しにドリルを使わないでください。
- 4 取り付け面に適したハードウェアを使用して、マウントを表面にしっかりと固定します。

前面カバーを開く

電気接続を行うには、前面カバーを開く必要があります。

1 前面カバーラッチ ① を持ち上げ、反時計回りに回します。



2 前面カバーをデバイスから引き出します。



アクセサリーの接続

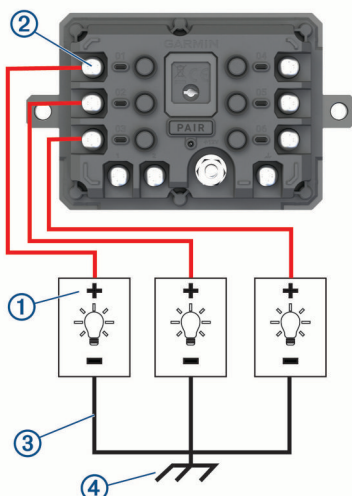
注記

ウインチの制御や電源供給にデバイスを使用しないでください。この注記に従わないと、車両またはデバイスが損傷することがあります。

電源をアクセサリー出力端子に接続しないでください。この注記に従わないと、車両またはデバイスが損傷することがあります。

アクセサリーの要件

- Garmin PowerSwitch デバイスに配線する前に、各アクセサリーの定格アンペアを確認してください。このデバイスは、各チャンネルで最大 30 A、システム全体で最大 100 A のアクセサリーに対応しています。
 - 20～30 A を使用するアクセサリーには、10 AWG (6 mm²) の配線を使用します。
 - 10～20 A を使用するアクセサリーには、12 AWG (4 mm²) の配線を使用します。
 - 10 A 未満を使用するアクセサリーには、14 AWG (2.5 mm²) の配線を使用します。
 - すべてのアクセサリー接続には適切なサイズの端子を使用します。
 - すべての端子コネクタをしっかりと圧着します。
- 1 アクセサリー ① のプラス線を Garmin PowerSwitch デバイスのアクセサリー端子 ② のいずれかに接続します。



- 2 マイナス線またはアース線 ③ を車両フレームの塗装されていないアーススタッド ④ に、アース供給ブロックに、またはバッテリーのマイナス端子に直接接続します。

△ 注意

アクセサリーアース線を Garmin PowerSwitch デバイスのアース端子 (GND) に接続しないでください。接続すると、人的損害や物的損害が発生したり、デバイスの機能に悪影響を及ぼすことがあります。

- 3 すべての電気接続がしっかりと締め付けられていることを確認し、使用中に緩まないようにしてください。

制御入力の接続

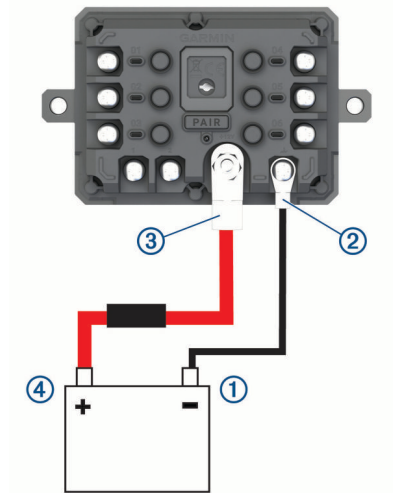
制御端末に接続して Garmin PowerSwitch デバイスを有効にすると、カスタマイズ可能な出力をオンにできます。たとえば、車両のイグニッションスイッチを制御入力端子に接続すると、車両を始動するたびにアクセサリーを自動的にオンにすることができます。制御端子は、3.3 V～18 V の信号を検出します。Garmin PowerSwitch アプリを使用して出力機能を構成できます。

車両の制御ソースからの制御線を Garmin PowerSwitch デバイスの 2 つの制御端子のいずれかに接続します。

デバイスを車両電源に接続する

デバイスを車両の電源に接続する前に、デバイスの+12V 端子から警告タグを取り外す必要があります。すべての電気接続が確実に固定され、デバイスの操作中に緩まないことを必ず確認してください。

1 同梱されているアース線 ① の大きいリング側を車両バッテリーのマイナス端子に接続します。



2 アース線の小さいリング側をデバイスの **GND** 端子 ② に接続します。

3 付属の 12V ケーブルの小さいリング側をデバイスの **+12V** 端子 ③ に接続します。

4 +12V 端子の $\frac{3}{8}$ in. ナットを最大トルク仕様 4.52 N-m (40 lbf-in.) で締め付けます。
ナットは手で緩めることができないことを確認する必要があります。

注記

端子の損傷を防ぐため、+12V 端子を締めすぎないでください。

5 12V ケーブル ④ の大きいリング側を車両バッテリーのプラス端子に接続します。

Garmin ナビゲーションデバイスとのペアリング

Garmin PowerSwitch デバイスを互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスとペアリングできます。

1 Garmin PowerSwitch デバイスの電源を入れ、互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスをデバイスから 1 m (3.3 ft.) 以内に配置します。

2 互換性のあるナビゲーションデバイスで、Garmin PowerSwitch アプリを開きます。

3 画面上の指示に従って、ペアリングおよびセットアッププロセスを完了します。

メインアプリダッシュボードが表示されます。デバイスは、ペアリングされると、電源がオンになって範囲内にあるときに、自動的に接続されます。

Garmin PowerSwitch 仕様

寸法 (奥行き x 幅 x 高さ)	75 × 125 × 32 mm (2.95 × 4.92 × 1.26 in.)
動作温度範囲	-25° ~ 85°C (-13° ~ 185°F)
無線周波数	2.4 GHz @ +15 dBm
電源入力	付属の車両電源ケーブルを使用して 12 ~ 16 V。
最大アクセサリ出力	30 A
最大システム出力	100 A
すべての出力をオフにした状態での電流引き込み	3 mA
防水等級	IEC 60529 IPX7 ¹

トラブルシューティング

自分の Garmin PowerSwitch が接続したままになりません

- Garmin PowerSwitch デバイスが受電していることを確認します。
- ペアリングしたナビゲーションデバイスまたはスマートフォンで Bluetooth テクノロジーが有効になっていることを確認します。
- ナビゲーションデバイスまたはスマートフォンをご自分の Garmin PowerSwitch デバイスに近づけます。
- 車両のバッテリーが 12 V 以上の電力を供給していることを確認します。
供給電力が 11 V 未満の場合、車両のバッテリーを保持するため、Garmin PowerSwitch デバイスはすべての出力を自動的にオフにします ([アクセサリに電力が供給されていません, 64 ページ](#))。

アクセサリに電力が供給されていません

- Garmin PowerSwitch デバイスが車両バッテリーから電力を供給されていることを確認します。
- 車両のバッテリーが 12 V 以上の電力を供給していることを確認します。
11 V 未満の電力を受信している場合、Garmin PowerSwitch デバイスはすべての出力を自動的にオフにして、車両のバッテリーを保持します。出力は、デバイスが 12 V を超える電力を検出するとオンに戻ります。
- 全ての電気接続が確実に固定されていることを確認し、走行中に緩むことがないようにします。
- 接続されている各アクセサリーの消費電力が 30 A 未満であることを確認します。
アクセサリーの消費電力が 30 A を超えると、デバイスはその出力を自動的にオフにします。
- システム全体の消費電力が 100 A 未満であることを確認します。
100 A を超えるシステムの消費電力を検出すると、すべての出力が自動的にオフになります。
- すべての電気接続に短絡がないか点検します。

ワイヤレスカメラ

接続された 1 台以上のワイヤレスカメラ (別売) からのビデオフィードを表示できます。

¹ このデバイスは水深 1 m、30 分までの偶発的な水没に耐える防水性能を備えています。詳細については、www.garmin.com/waterrating を参照してください。

BC™ 50 カメラと Garmin ナビゲーションデバイスのペアリング

BC™ 50 カメラは、互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスとペアリングできます。デバイスの互換性について詳しくは、garmin.com/backupcamera を参照してください。

1 ナビゲーションデバイスを最新のソフトウェアに更新します。

お使いのデバイスは、最新のソフトウェアがないと、BC™ 50 カメラをサポートしない場合があります。デバイスソフトウェアの更新の詳細については、ナビゲーションデバイスの操作マニュアルを参照してください。

2  > カメラ > 新しいカメラの追加の順に選択します。

3 画面の指示に従って、カメラのペアリングと設定を完了します。

カメラとのペアリングプロセスを初めて完了した後、電源を入ると、Garmin ナビゲーションデバイスに自動的に接続されます。

バックアップカメラを表示する

警告

このデバイスは、適切に使用された場合に状況認識を高めることを目的としています。不適切に使用すると、ディスプレイに気を取られ、重傷事故や死亡事故につながる可能性があります。デバイスに表示された情報を、凝視しないようにしてください。周囲の状況に常に気を配るようにして、ディスプレイを見つめたり、ディスプレイに気を取られたりしないでください。ディスプレイに意識を向けると、障害物や危険物を見落とすおそれがあります。

カメラを互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスとペアリングすると、ナビゲーションデバイスをオンにしたときにカメラビューが自動的に表示されます。また、いつでも手動でカメラを表示することもできます。

- ナビゲーションデバイスがイグニッション連動電源に接続されている場合は（推奨）、車両の電源を入れます。
- ナビゲーションデバイスが常時オン電源に接続されている場合は、ナビゲーションデバイスの電源を入れます。
- カメラを手動で表示するには、 を選択します。
- 音声コマンドを使用してカメラを表示または非表示にするには、**ビデオを表示**または**ビデオを表示しない**と発声します。

注：音声コマンドは、一部のナビゲーションデバイスでは使用できません。音声コマンドは、ご利用のナビゲーションデバイスによって異なる場合があります。この機能は、一部の言語では使用できません。また、一部の言語では、追加のナビゲーションデバイスの設定が必要になる場合があります。詳細については、ナビゲーションデバイスの OK, Garmin アプリまたは、ナビゲーションデバイスの操作マニュアルを参照してください。

カメラビューが表示されます。車両が前進していることをカメラが検知すると、カメラは自動的にビデオの送信を停止し、ナビゲーションデバイスは通常の動作に戻ります。車両が前進したかどうかにかかわらず、2 分 30 秒後にカメラ映像は自動的に消去されます。

カメラを切り替える

複数のバックアップカメラが、デバイスに情報を送信している場合、それらのカメラの画像を切り替えることができます。

カメラビューから、次のオプションを選択します。

-  を選択します。
- 画面をタップし、画面下部のカメラを選択します。

カメラからのビデオフィードが表示されます。

カメラの向きの変更

カメラの車両上の設置場所によっては、映像がデフォルトで上下逆、または左右が逆になる場合があります。映像を水平方向に回転したり、垂直方向に反転して修正できます。

- 1 カメラビューから、次のオプションを選択します。
 - ・  > **ビデオを調整する** の順に選択します。
 - ・ 画面をタップし、 を選択します。
- 2 画像を反転するには、 を選択するか、 を選択して画像を反転します。
- 3  を選択します。

データ管理

デバイスには、データストレージを追加できるメモリーカードスロットがあります。

注：このデバイスは Windows 7 以降、および Mac OS 10.7 以降に対応しています。

メモリーカードについて

家電販売店からメモリーカードを購入したり、あらかじめロードされている Garmin 地図ソフトウェア (www.garmin.com) を購入できます。メモリーカードを使用すると、地図やカスタム POI などのファイルを保存できます。

ダッシュカメラのメモリーカードのフォーマット

ダッシュカメラには、FAT32 ファイルシステムでフォーマットしたメモリーカードが必要です。デバイスを使用すると、このファイルシステムでカードをフォーマットできます。

メモリーカードの耐用期間を延ばすには、少なくとも 6 か月に 1 回はメモリーカードをフォーマットしてください。新品のメモリーカードでも、FAT32 ファイルシステムでフォーマットされていない場合はフォーマットする必要があります。

注：メモリーカードをフォーマットすると、カード上のデータがすべて削除されます。

- 1  > **ギャラリー** を選択します。
- 2  > **メモリーカードのフォーマットの順** に選択します。

地図およびデータ用のメモリーカードを挿入する

メモリーカードを挿入して、デバイスの地図やその他のデータの記憶容量を増やすことができます。メモリーカードは家電販売店で購入できます。このデバイスは、4 ~ 512 GB の microSD メモリーカードに対応しています。メモリーカードは FAT32 ファイルシステムフォーマットを使用している必要があります。

- 1 デバイス上の地図とデータメモリーカードスロットの位置を確認します ([dēzl デバイスの概要, 1 ページ](#))。
- 2 メモリーカードをスロットに挿入します。
- 3 カチッと音がするまで押し込んでください。

デバイスをコンピュータに接続する

USB ケーブルを使用して、デバイスをコンピュータに接続できます。

- 1 USB ケーブルの小さい方の端をデバイスのポートに接続します。
- 2 USB ケーブルの大きい方の端をコンピュータのポートに接続します。
- 3 dēzl デバイスで **タップしてコンピュータに接続します** を選択します。

コンピュータとデバイスが接続されている画像が、デバイス画面に表示されます。

コンピュータのオペレーティングシステムにより、デバイスはポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして表示されます。

コンピュータからデータを転送する

- 1 デバイスをコンピュータに接続します ([デバイスをコンピュータに接続する, 66 ページ](#))。
コンピュータのオペレーティングシステムにより、デバイスはポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして表示されます。
- 2 コンピュータで、ファイルブラウザを開きます。
- 3 ファイルを選択します。
- 4 [編集] > [コピー] の順に選択します。
- 5 デバイス上のフォルダを参照します。
注：リムーバブルドライブまたはボリュームの場合、Garmin フォルダにファイルを入れないでください。
- 6 [編集] > [貼り付け] の順に選択します。

追加の地図を購入する

- 1 garmin.com のデバイス製品ページにアクセスします。
- 2 地図タブをクリックします。
- 3 必要に応じて、大陸と地図タイプを選択します。
- 4 地図を選択します。
- 5 画面に表示される手順に従います。

アクセサリーを購入する

- オプションのアクセサリーは、garmin.com または Garmin 販売店から入手できます。

